

令和7年度 第2回 磐田市地域公共交通会議

日時：令和8年1月21日（水）午後1時30分～
場所：中泉交流センター2階 会議室

令和 7 年度地域間幹線系統に関する事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）に関する補助対象事業（磐田市立病院福田線 外 6 系統）の評価及び地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書を議論・検討されたく別添のとおり提出する。

～地域間幹線系統に関する事業評価とは～

地域間幹線系統とは地域間をまたぐ路線のことで、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金を申請しており、補助金要綱に基づき、評価をすることとなっています。

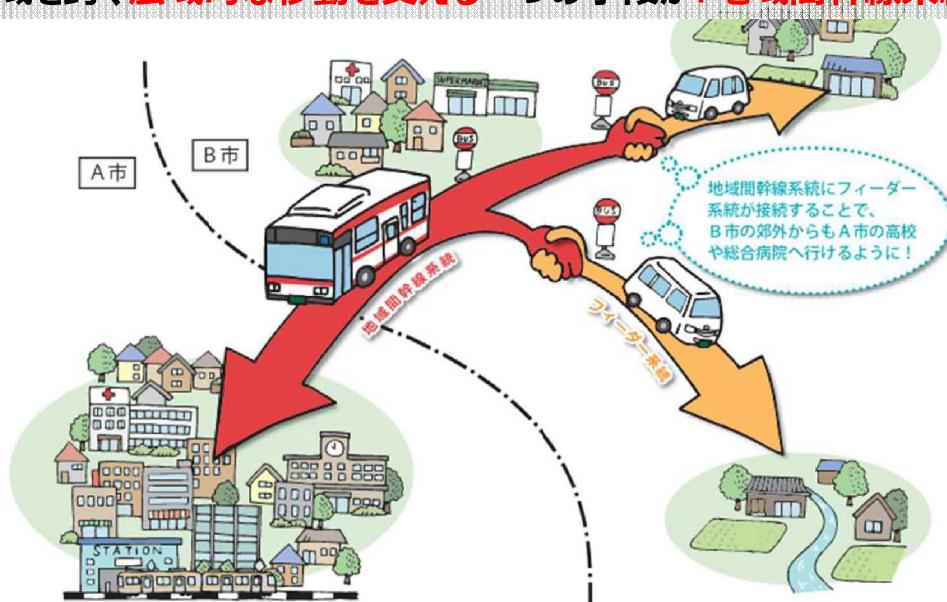
本市の場合は、民間路線である遠州鉄道株式会社の磐田市立病院福田線 外 6 系統が対象となっており、事業者の評価を受けて市の取組方針報告書を県へ提出するため本会議で協議するものです。

令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

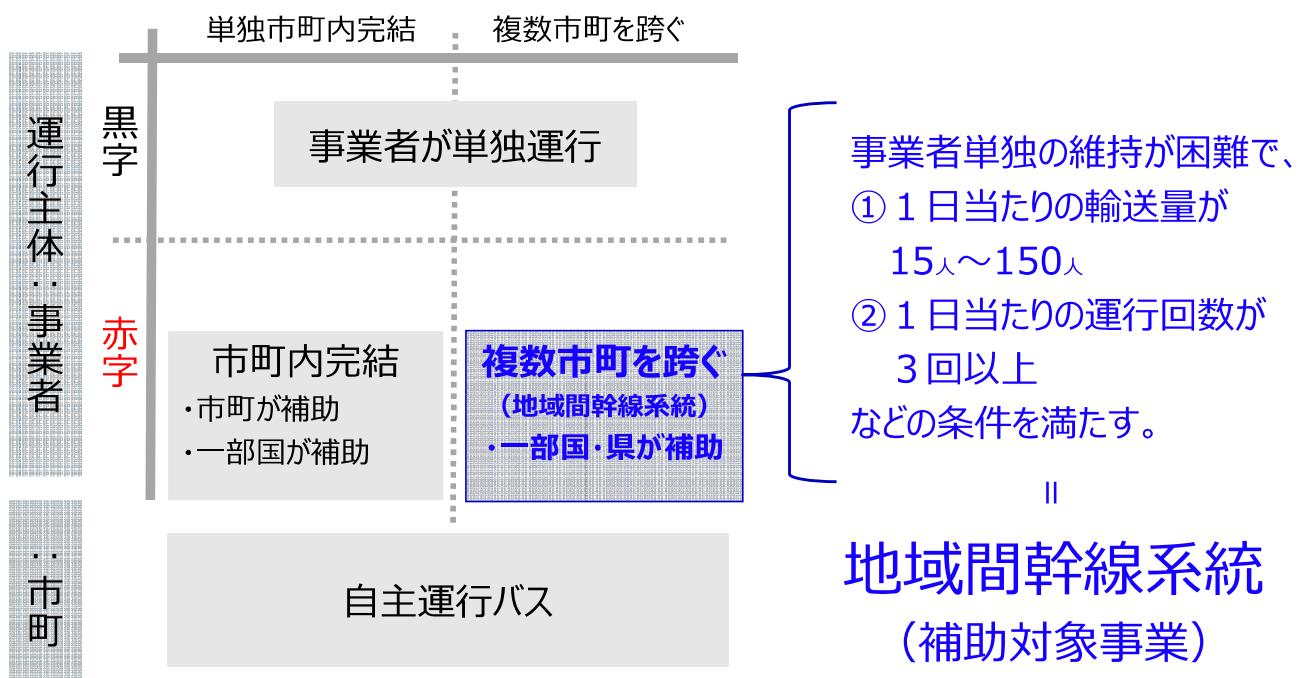
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、
結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動**を支える一つの手段が**「地域間幹線系統」**です。



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために（監修：中部運輸局）

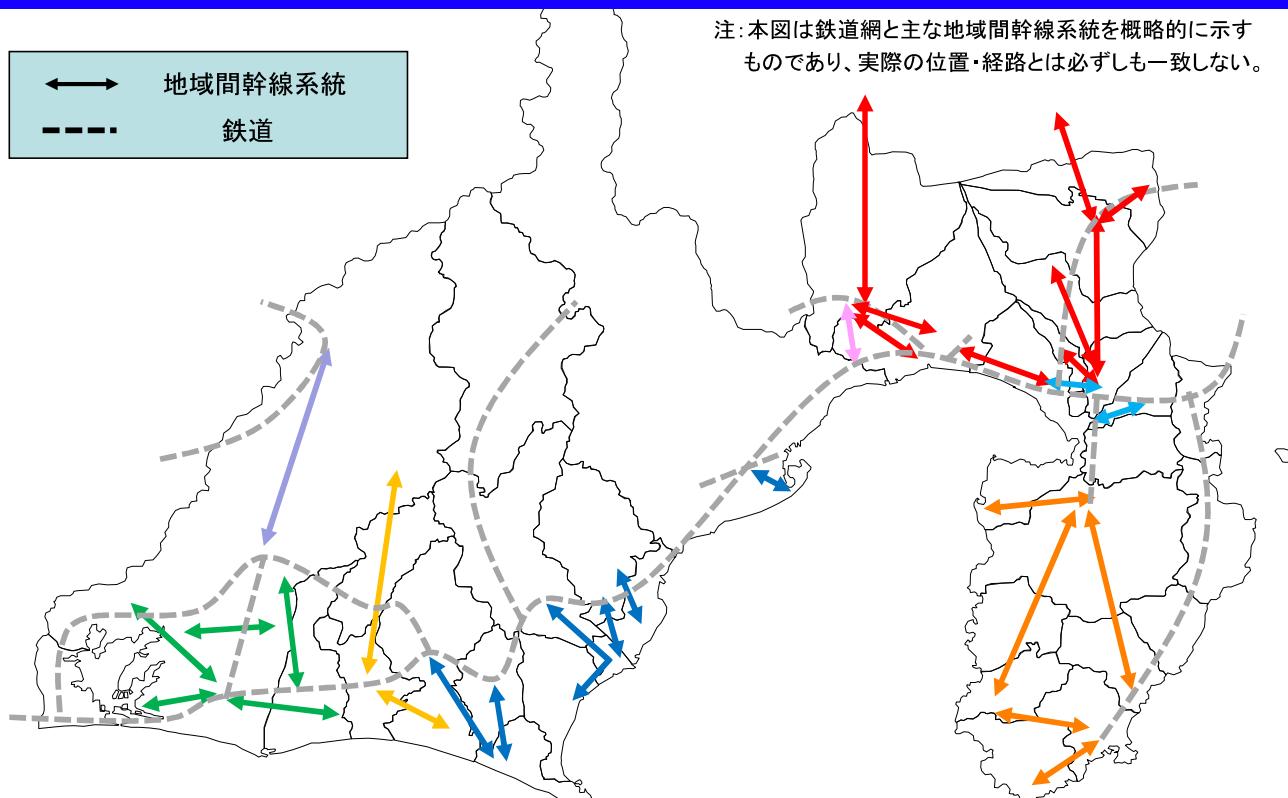
地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



2

県内の地域間幹線系統(概略図)



3

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
 - 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため
- (参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会*は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

*本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会を指す。

4

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・C・Dで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合 計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点以下

5

令和7年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通				1	1
秋葉バスサービス	2	1	1		4
遠州鉄道	5	9		2	16
しづてつジャストライン	4	5	1	1	11
富士急モビリティ	1	3			4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	3			4
富士急シティバス	2	4			6
伊豆箱根バス	2	1			3
東海バス	4	4			8
合 計	23	30	2	4	59

6

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、星ヶ丘～蘿原病院	C	D	△
2		秋葉線	D	C	○
3		秋葉中遠線	A	A	—
4	秋葉バスサービス	秋葉中遠線	A	A	—
5		秋葉中遠線	B	B	—
6		浜北医大三方原聖隸線	B	B	—
7		磐田市立病院福岡線	A	B	△
8		中ノ町磐田線	B	A	○
9		秋葉線	B	D	△
10		磐田天竜線	A	B	△
11		磐田天竜線	B	B	—
12		掛塚さなる台線	A	A	—
13	遠州鉄道	内野台線	A	B	△
14		内野台線	B	A	○
15		磐田市立病院福岡線	D	D	—
16		引佐線	A	A	—
17		萩丘都田線	A	B	△
18		大塚ひとみヶ丘線	A	B	△
19		気賀三ヶ日線	A	B	△
20		奥山線	A	B	△
21		掛塚さなる台線	A	A	—

	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
22		三保草薙線	B	A	○
23		五十海大往線	B	A	○
24		焼津岡部線	B	A	○
25		藤枝吉永線	A	B	△
26		島田静波線	A	D	△△
27	しづてつジャストライ	島田静波線	B	B	—
28		藤枝相良線	B	B	—
29		菊川浜岡線	A	B	△
30		掛川大東浜岡線	A	B	△
31		掛川大東浜岡線	B	A	○
32		掛川大東浜岡線	D	C	○
33		御殿場線	A	B	△
34	富士急モビリティ	駿河小山線	A	B	△
35		十里木線	A	B	△
36		河口湖線	A	A	—
37	富士急バス	河口湖線	A	A	—
38		新富士線	A	A	—
39		曾比奈線	C	B	○
40	富士急静岡バス	大渊線	C	B	○
41		大月線	A	A	—
42		大月線	B	B	—

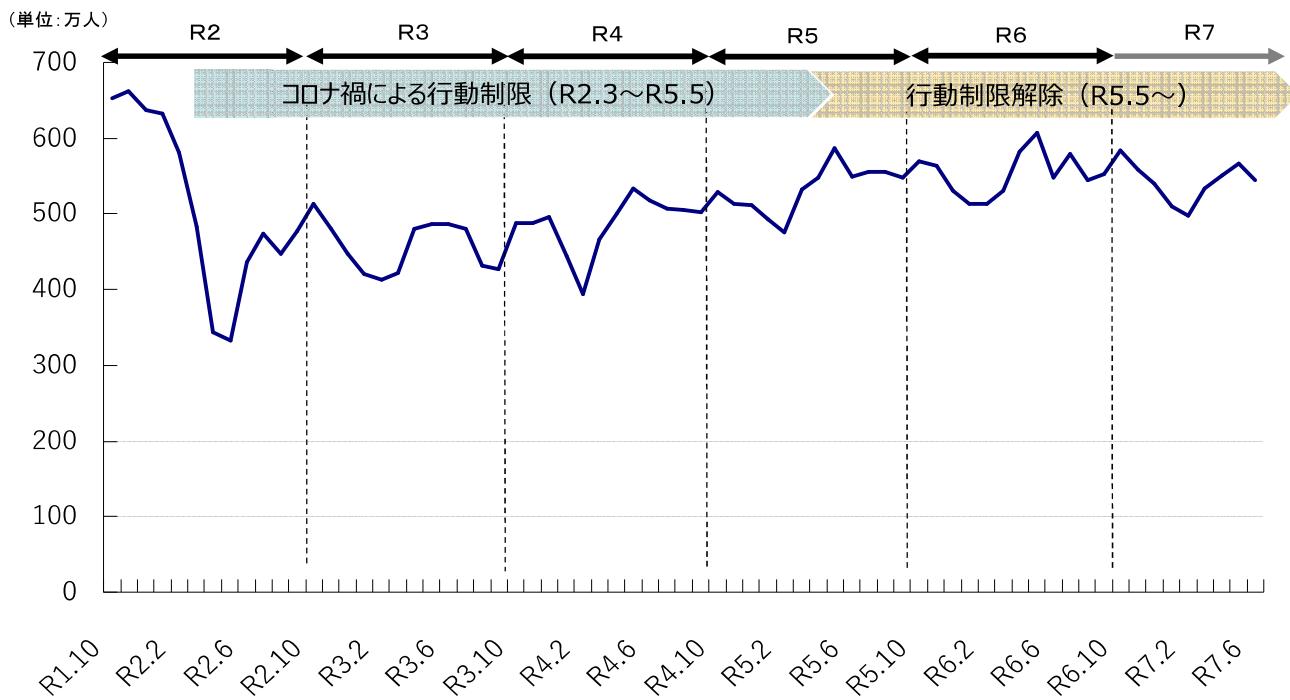
	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
43		駿河平線	B	B	—
44		須山線	B	B	○
45	富士急シティバス	原線	B	B	—
46		桜堤線	B	B	○
47		がんセンター線	B	A	○
48		がんセンター線	B	A	—
49		沼津大岡三島線	A	A	—
50	伊豆箱根バス	長岡伊豆三津コーパラダイス線	B	A	○
51		沼津静浦長岡線	B	B	—
52		石廊崎線	A	A	—
53		天城崎線	A	B	△
54		戸田線	A	B	△
55	東海バス	西海岸線	A	A	—
56		バサラ咲線	A	B	△
57		バサラ咲線	A	B	△
58		下賀茂線	A	A	—
59		柿田線	B	A	○

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

7

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R7. 6)



(静岡県地域交通課調査)
8

燃料価格など物価高騰の影響①

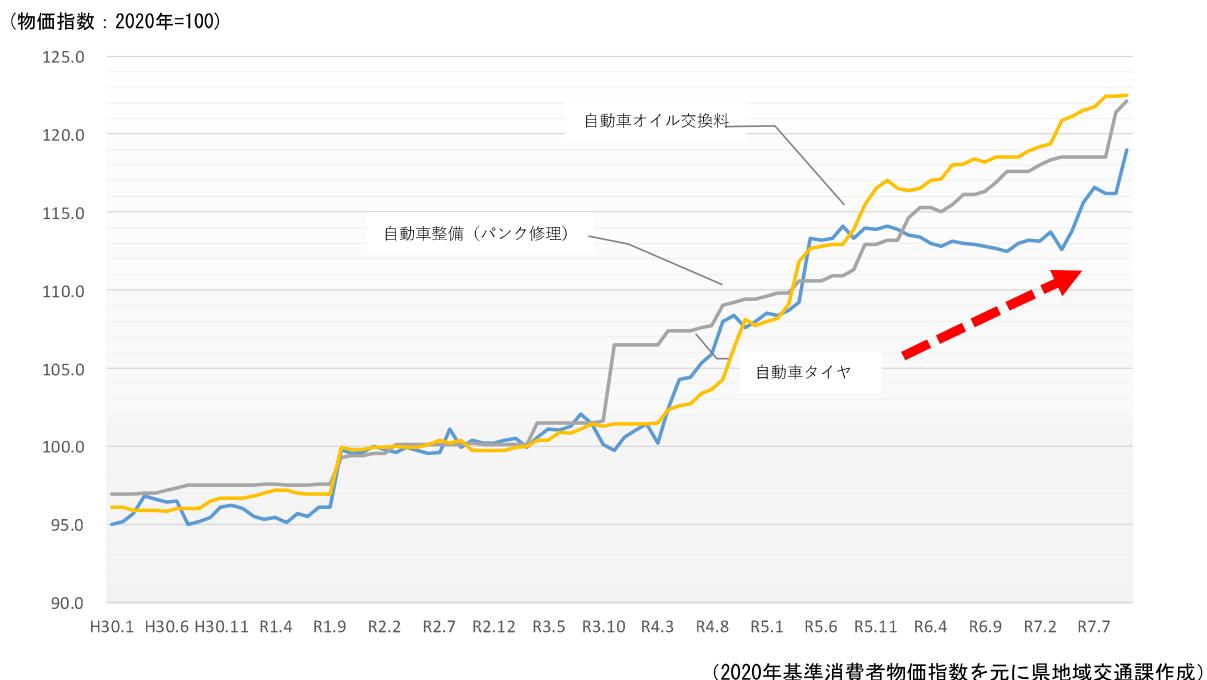
■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R7.10)



(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)
9

燃料価格など物価高騰の影響②

■車両維持費の推移 (H30.1～R7.10)



10

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none">・エコドライブ取組強化期間の設定・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制)・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・バスロケーションシステムの導入・スマホ定期券の販売を開始・キャッシュレス決済機器の導入・市町と連携したバスの乗り方教室の実施・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

11

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・公共交通利用券の配布・バスの日イベントの実施・バスロケーションシステム導入費用の補助・キャッシュレス決済機器導入費用の補助・小学生を対象にしたバス無料デーの実施
物価高騰 対策	<ul style="list-style-type: none">・車両維持費への補助・燃料費高騰分の補助

令和7年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+ 5 %以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価（10点満点）
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B (参考：R6: B)

- 評価対象系統全59系統中、A評価：23系統、B評価：30系統、C評価：2系統、D評価：4系統
- 平均点数が80.9点であることから、全体評価を『B』とした。
- 各系統の評価結果は別添「令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)		実施状況(40点)		幹線性・広域性(20点)		評価				事業者平均	
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)	点数	A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	
山梨交通	1 富士宮駅・イン・里山台・渕原病院線	10	5	15	12	3	15	5	11	41	○	1	41.0
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～愛多)	10	5	15	3	20	23	10	5	15	53	○	
秋葉バスサービス	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	10	5	15	87	○	
	4 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	6	8	14	86	○	4
	5 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	5	8	13	85	○	77.7
6 浜北医大三方原聖蹟	7 湘南市立湘南病院(鎌田駅前～鎌田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	12	15	27	19	8	18	85	○	
	8 湘南鎌田線(鎌田駅～鎌田駅～鎌田営業所)	10	30	40	15	20	15	35	7	5	12	73	○
	9 秋葉線(鎌田駅前～鎌田駅～厚生会)	10	30	40	20	15	35	9	5	14	89	○	
遠州鉄道	10 鎌田天童線(天童駅～新開～鎌田駅)	10	30	40	20	6	3	9	8	15	39	○	
	11 鎌田天童線(天童駅～鎌田駅)	10	30	40	15	6	24	8	10	18	84	○	
	12 接客なな台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	9	8	17	92	○	
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81	○	
	14 内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○	16
	15 鎌田市立病院福田線(鎌田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	5	8	13	46	○	
	16 引佐線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○	
	17 長丘都田線	10	30	40	20	3	23	10	5	15	78	○	
	18 大窓ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	10	0	10	73	○	
	19 気質三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	10	5	15	81	○	
	20 鳥山線	10	30	40	20	3	23	10	8	18	98	○	
	21 接客なな台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○	
	22 三保草薙線	10	30	40	20	15	35	10	2	12	87	○	
	23 五十海大生線	10	30	40	15	20	35	10	8	18	93	○	
	24 烟津西面部線	10	30	40	15	20	35	6	10	16	91	○	
	25 鷺枝吉永線	10	30	40	15	3	18	10	8	18	76	○	
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15	10	10	20	50	○	
しづてつシャストライン	27 鳥田静波線(島田駅立派医療センター～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75	○	
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	15	18	10	10	20	78	○	
	29 菊川浜岡線	10	30	40	20	3	23	5	8	13	76	○	
	30 接川大東浜岡線(接川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	3	15	9	10	19	74	○	
	31 接川大東浜岡線(中野道総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	
	32 接川大東浜岡線(接川駅前～大東支所)	10	0	10	12	20	32	4	10	14	56	○	
	33 鈴殿場線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70	○	
	34 駒河小山線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83	○	4
	35 十里木線	10	30	40	15	3	18	8	10	18	76	○	82.2
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	
	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	2
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	100
	39 富比奈線	10	5	15	20	20	40	8	10	18	73	○	
富士急静岡バス	40 大洲線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70	○	4
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○	78.2
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75	○	
	43 鎌河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79	○	
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81	○	
	45 原線	10	30	40	12	6	18	10	2	12	78	○	
富士急シティバス	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83	○	6
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	6	5	11	91	○	82.5
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	8	8	16	91	○	
	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	
	50 長岡伊豆三津シーラダイス線	10	30	40	20	15	35	7	8	15	90	○	3
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	7	5	12	78	○	
	52 石龜駅線	10	30	40	20	20	40	7	10	17	83	○	
	53 天城駅線	10	30	40	20	6	26	10	8	18	84	○	
	54 伊豆線	10	30	40	20	3	23	7	8	15	78	○	
東海バス	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○	
	56 バサラ海岸線(下田駅～塩ヶ島)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	83	○	8
	57 バサラ岸線(下田駅～宇久須)	10	30	40	12	20	32	7	8	15	87	○	
	58 下賀茂線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	
	59 柿田線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○	
	計							23	30	23	30	2	4

・平均評価点数が80.9点である。

地域間幹線系統項目別評価一覧表（輸送量）

(参考)

事業者名	系統名	R5実績	R6実績	R7実績	備考
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	20.6	19.5	19.5	R8.1～退出
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	19.8	14.5	19.2	
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	56.7	58.5	59.5	
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	22.1	24.6	24.6	
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	54.8	53.7	63.4	
	6 浜北医大三方原聖隸	25.0	20.4	21.7	
遠州鉄道	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	27.2	24.9	24.9	
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	85.5	80.0	81.4	
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	21.7	25.0	19.1	
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	28.4	25.9	24.9	
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	61.4	59.6	55.3	
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	19.6	20.5	22.1	
	13 内野台線(内野台車庫)	46.2	42.3	40.0	
	14 内野台線(サンストリート浜北)	49.0	36.1	46.2	
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	21.7	19.4	17.6	
	16 引佐線	71.2	66.5	66.5	
	17 萩丘都田線	29.5	28.5	27.5	
	18 大塚ひとみヶ丘線	85.5	93.8	83.4	
	19 気賀三ヶ日線	61.0	65.3	63.6	
	20 奥山線	92.1	107.3	104.3	
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	137.7	130.3	137.7	
しづてつジャストライン	22 三保草薙線	40.4	39.9	41.6	
	23 五十海大住線	26.7	25.2	29.9	
	24 焼津岡部線	54.0	50.1	57.2	
	25 藤枝吉永線	45.3	57.2	44.9	
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	23.1	25.6	19.2	
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	26.6	23.8	20.4	
	28 藤枝相良線	55.4	59.6	49.9	
	29 菊川浜岡線	38.0	46.5	45.0	
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	24.6	42.9	37.7	
	31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	37.2	33.5	32.3	
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	31.9	6.7	11.3	R7.10～「30掛川大東浜岡線」と統合
富士急モビリティ	33 御殿場線	30.0	24.5	18.5	
	34 駿河小山線	31.8	34.4	27.2	
	35 十里木線	25.4	30.0	24.3	
	36 河口湖線	21.6	23.4	28.8	
富士急バス	37 河口湖線	74.0	79.2	81.0	
	38 新富士線	17.7	25.5	27.9	
富士急静岡バス	39 曽比奈線	16.1	15.1	15.6	
	40 大渕線	16.7	15.5	15.5	
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	85.1	79.2	81.1	
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	17.4	15.3	15.6	
富士急シティバス	43 駿河平線	45.9	30.5	22.6	
	44 須山線(三島駅～須山)	34.8	31.0	26.4	
	45 原線	31.9	31.5	24.3	
	46 桜堤線	54.9	58.8	53.5	
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	26.4	24.2	21.8	
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	58.5	37.3	39.2	
	49 沼津大岡三島線	126.5	118.2	137.8	
	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	76.1	68.5	69.2	
東海バス	51 沼津静浦長岡線	149.4	135.0	135.7	
	52 石廊崎線	48.0	46.5	60.0	
	53 天城峠線	39.0	40.0	48.0	
	54 戸田線	26.6	37.8	25.5	
	55 西海岸線	54.4	58.9	59.8	
	56 バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	44.0	48.8	48.8	
	57 バサラ峠線(下田駅～宇久須)	27.9	23.6	19.3	
	58 下賀茂線	—	22.7	20.5	
	59 柿田線	—	72.0	80.4	
計(平均値)		46.0	45.0	44.7	

地域間幹線系統 事業評価基準

項目	評価のポイント	満点	配点
補助基準	国庫補助基準を満たしたか	40	
運行回数	運行回数 3回/日以上を確保したか	10	3回/日以上 : 10点 3回/日未満 : 0点
輸送量	実績輸送量15人/日以上を達成したか	30	20人/日以上 : 30点 15人/日以上20人/日未満 : 5点 15人/日未満 : 0点
実施状況	効果的に実施されたか	40	
収支率	収入を確保できているか	20	50%以上 : 20点 40%以上50%未満 : 15点 30%以上40%未満 : 12点 25%以上30%未満 : 6点 25%未満 : 3点
乗車人員	乗車人員の実績は計画を上回ったか	20	5%以上増 : 20点 0%~5%未満増 : 15点 5%未満減 : 6点 5%以上減 : 3点
幹線性・広域性	幹線としての役割を果たしたか	20	
ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか	10	拠点(駅・B T) : 2点/箇所 乗換可能バス停 : 1点/箇所
広域トリップ状況	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	10	50%以上 : 10点 30%以上50%未満 : 8点 10%以上30%未満 : 5点 5%以上10%未満 : 2点 5%未満 : 0点
合計		100	86点以上 : A評価 66~85点 : B評価 51~65点 : C評価 50点以下 : D評価

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田市立病院福田	磐田市立病院	磐田駅	豊浜郵便局
系統キロ程	関係市町			
19.6 km	磐田市			

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	5.8回/日	10	5.8回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	24.9人/日	30	24.9人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	48.8%	15	50.1%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 83,257人 計画 83,767人	6	83,767人 77,915人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 1箇所 乗継バス停 5箇所	7	1箇所 5箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	28.4%	5	28.3%

補助基準	40 /40
実施状況	21 /40
幹線性・広域性	12 /20
合計	73 /100

評価指標
B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧福田町から磐田駅を経由し、磐田市立病院へと至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び通院の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 磐田駅 (乗継ぎバス停) 西坂町・加茂川・新道・前嶋・福田車庫
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 磐田南高・磐田北小・磐田市役所・磐田市福田支所・新都市病院・磐田市立病院・JR磐田駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。 【実績】 ①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	中ノ町磐田	浜松駅	中ノ町	磐田営業所
系統キロ程	関係市町			
17.5 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	13.8 回/日	10	13.8 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	81.4 人/日	30	80.0 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	60.6 %	20	60.8 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 265,537 人 計画 263,371 人	15	263,371 人 264,673 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 2 箇所 乗継バス停 5 箇所	9	2 箇所 5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	10.9 %	5	11.3 %

補助基準	40 /40
実施状況	35 /40
幹線性・広域性	14 /20
合計	89 /100

評価指標
A

A : 幹線として優れた役割を果たしている

B : 幹線として適した運行となっている

C : 改善に努力を要する

D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	浜松駅から旧豊田町、磐田駅を経由し、磐田市東部に至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学の手段としての他、JR駅への接続の手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>浜松駅バスター・ミナル・磐田駅</p> <p>(乗継ぎバス停)</p> <p>広小路・子安・磐田石原・加茂川・磐田営業所</p>
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 西遠学園・磐田西高・磐田南高・中ノ町小学校・磐田西小・磐田市役所・JR浜松駅・JR磐田駅

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。</p> <p>②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。</p> <p>③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。</p> <p>②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。</p> <p>③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。</p> <p>②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。</p> <p>②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。</p> <p>また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田天竜	山東	新開	磐田駅
系統キロ程	関係市町			
21.7 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	4.9回/日	10	4.9回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	24.9人/日	30	25.9人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	52.1%	20	55.4%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	64,369人 66,324人	66,324人 60,817人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	2箇所 4箇所	2箇所 4箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	72.6%	10	71.1%

補助基準	40 /40
実施状況	26 /40
幹線性・広域性	18 /20
合計	84 /100

評価指標
B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧天竜市中心部と磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>二俣駅・磐田駅</p> <p>(乗継ぎバス停)</p> <p>山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川</p>
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館・天竜区役所・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅</p>

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。</p> <p>②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。</p> <p>③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。</p> <p>②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。</p> <p>③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。</p> <p>②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。</p> <p>②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。</p> <p>また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田天竜	山東	ららぽーと磐田	磐田駅
系統キロ程	関係市町			
24.7 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	14.2 回/日	10	14.2 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	55.3 人/日	30	59.6 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	40.8 %	15	44.1 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	197,388 人 199,848 人	6 221,600 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	2 箇所 4 箇所	8 2 箇所 4 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	30.2 %	8	32.8 %

補助基準	40 /40
実施状況	21 /40
幹線性・広域性	16 /20
合計	77 /100

評価指標
B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧天竜市中心部から大型商業施設を経由し磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となつておる、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 二俣駅・磐田駅 (乗継ぎバス停) 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館・天竜区役所・ららぽーと磐田・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。 【実績】 ①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	掛塚さなる台	浜松駅	掛塚	豊浜郵便局
系統キロ程	関係市町			
17.3 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	4.1回/日	10	4.1回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	22.1人/日	30	20.5人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	59.2%	20	57.1%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	64,080人 64,050人	15 64,050人 59,787人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	1箇所 7箇所	9 1箇所 7箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	40.4%	8	35.9%

補助基準	40 /40
実施状況	35 /40
幹線性・広域性	17 /20
合計	92 /100

評価指標
A

A : 幹線として優れた役割を果たしている

B : 幹線として適した運行となっている

C : 改善に努力を要する

D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	旧福田町から旧竜洋町を経由し、浜松駅へと至る路線。沿線には1つの高校が存在。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学の手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>浜松駅バスターミナル</p> <p>(乗継ぎバス停)</p> <p>東部協働センター・名塚西・芳川西・芳川・新道・前嶋・福田車庫</p>
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>浜松修学舎・竜洋西小学校・磐田市福田支所・JR浜松駅</p>

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。</p> <p>②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。</p> <p>③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。</p> <p>②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。</p> <p>③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。</p> <p>②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。</p> <p>②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。</p> <p>また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。</p>

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	磐田市立病院福田	磐田駅南口	福田車庫	豊浜郵便局
系統キロ程	関係市町			
9.4 km	磐田市			

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	6.8回/日	10	6.7回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	17.6人/日	5	19.4人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	36.7%	12	41.9%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	42,569人 43,883人	6 43,883人 46,718人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	1箇所 3箇所	5 1箇所 3箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか		48.6%	8 53.6%

補助基準	15 /40
実施状況	18 /40
幹線性・広域性	13 /20
合計	46 /100

評価指標
D

A:幹線として優れた役割を果たしている

B:幹線として適した運行となっている

C:改善に努力を要する

D:見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	J R磐田駅と旧福田町を結ぶ路線。J Rから比較的離れた地域から最寄りのJ R駅への接続をしており、代替の交通機関もないため、地域住民にとって必須の路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 磐田駅南口 (乗継ぎバス停) 新道・前嶋・福田車庫
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 静岡産業大学・新都市病院・磐田市福田支所・JR磐田駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。 【実績】 ①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
遠州鉄道株式会社	掛塚さなる台	浜松駅	芳川	掛塚
系統キロ程	関係市町			
6.9 km	浜松市	磐田市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	24.6 回/日	10	24.6 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	137.7 人/日	30	130.3 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	85.2 %	20	83.1 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	255,468 人 235,344 人	20 235,344 人 196,782 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	2 箇所 4 箇所	8 2 箇所 4 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	—	25.1 %	5 26.3 %

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	13 /20
合計	93 /100

評価指標
A

A : 幹線として優れた役割を果たしている

B : 幹線として適した運行となっている

C : 改善に努力を要する

D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	浜松市中心部から掛塚街道沿いを東進し、旧竜洋町の掛塚までを結ぶ広域幹線。沿線には公共施設、学校があり、地域住民にとって欠かせない路線となっている。路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 浜松駅バスターミナル、掛塚（磐田市自主運行バス） (乗継ぎバス停) アクトシティ、東部協働センター、芳川西、芳川
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) JR浜松駅、アクトシティ、東部協働センター、浜松修学舎高校、芳川小学校

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	●事業者としての取組 【計画】 ①定期券ネット販売の認知度及びサービスの向上を図る。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売するなど、MaaSアプリによるサービスの向上を図る。 ③運賃箱から取得されるバスの運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成する。 【実績】 ①定期券の新規定期券においては高校へ進学する学生をターゲットとした周知活動を展開。継続定期券についてはキャンペーンを展開し認知向上に努めた。 ②大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、継続してデジタルフリー乗車券を販売。 ③旅客動向の分析を行い、令和6年10月と令和7年3月、5月、8月にダイヤ改正を実施。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②点呼業務のデジタル化やAIで交番が自動作成できる仕組みを活用し、運行管理業務を省力化することで固定費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②乗務員交番作成をAIを使用し自動化する取り組みを継続し、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。 また、本社、営業所間、営業所内の様々な情報の共有をLINEWORKSを活用し実施することで、情報共有の効率的な運用を実現した。

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		磐田市
対象系統		
評価指標	A	中ノ町磐田線、掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)、掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)
	B	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)、磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)、磐田天竜線(ららぼーと経由)
	C	
	D	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)
市町の取組		
<p>1 地域間幹線系統の路線運行を維持するバス事業者に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象(区間) 地域間幹線系統路線のうち、市内を運行する全区間 ・補助率 経常欠損額から国県補助金及び競合カット額を除いた額 ・補助額 82,796千円 <p>2 市ホームページから運行事業者ホームページへのリンク設定やバス路線図の配置により住民へ周知を図った。</p> <p>3 エコ通勤の日を設定し、職員に対してバスをはじめとした公共交通機関の利用を促進した。</p> <p>4 市自主運行バス路線の行き先に地域間幹線系統のバス停を設定し、接続した。</p>		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	AまたはB	継続して補助金を交付しつつ、バス路線の重要性に関する市民の意識醸成を図るため周知する。
	CまたはD	継続して補助金を交付しつつ、バス路線の重要性に関する市民の意識醸成を図るため周知する。

(記載要領)

- 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください。

デマンド型乗合タクシーの自己評価について

令和7年度（令和6年10月から令和7年9月）地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー）に関する磐田市デマンド型乗合タクシー（福田線・磐田中央線）の自己評価を別添のとおり定めるものとする。

～デマンド型乗合タクシーの自己評価とは～

デマンド型乗合タクシーのうち福田線と磐田中央線は、国の地域公共交通確保維持改善事業費国庫補助金の申請をしており、補助金要綱に基づき、自己評価をすることとなっています。

つきましては、事業評価シートを国に提出するため、本会議で協議するものです。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月21日

協議会名：磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内ファイーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	【事業評価の評価対象期間において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている事業に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】	A ・【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画ごとに記載されたかを記載。】 B ・【計画に基づく事業が適切に実施されなかつた場合には、理由等を記載】 C ・【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかつた場合には、理由等を分析の上記載】 評価	A ・【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかつた場合には、理由等を分析の上記載】 B ・【計画に基づく事業が適切に実施されなかつた場合には、理由等を記載】 C ・【計画に基づく事業が適切に実施されなかつた場合には、理由等を記載】 評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させると方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
①デマンド型乗合タクシー(福田線)	磐田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行	デマンド型乗合タクシーの利用促進を図ることを目標として、前年比1.1の伸び率を目標とした。 運転免許証自主返納者等の高齢者に対する支援や地域包括支援センタと連携・協力して周知し、高齢者の移動手段として定着し、利用者が増加したことにより目標値を達成することができた。	計画のとおり事業は適切に実施された。 ・高齢者サロン等での説明・広報紙及び市ホームページへの掲載	①デマンド型乗合タクシー(福田線) (目標値) 1日あたりの利用者数 交通結節点利用者数 (実績値) 1日あたりの利用者数 交通結節点利用者数 (目標値) 14.4人 344人 20.3人 433人	地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め利用促進を図る。 運行を持続可能なものにするため、目的地の追加などでの利便性向上による改善とあわせて、運賃制度の見直しを検討する。
②デマンド型乗合タクシー(磐田中央線)	磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行	②デマンド型乗合タクシー(磐田中央線)	A	A ・1日あたりの利用者数 交通結節点利用者数 (実績値) 1日あたりの利用者数 交通結節点利用者数 (目標値) 51.9人 771人 68.8人 1,193人	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月21日

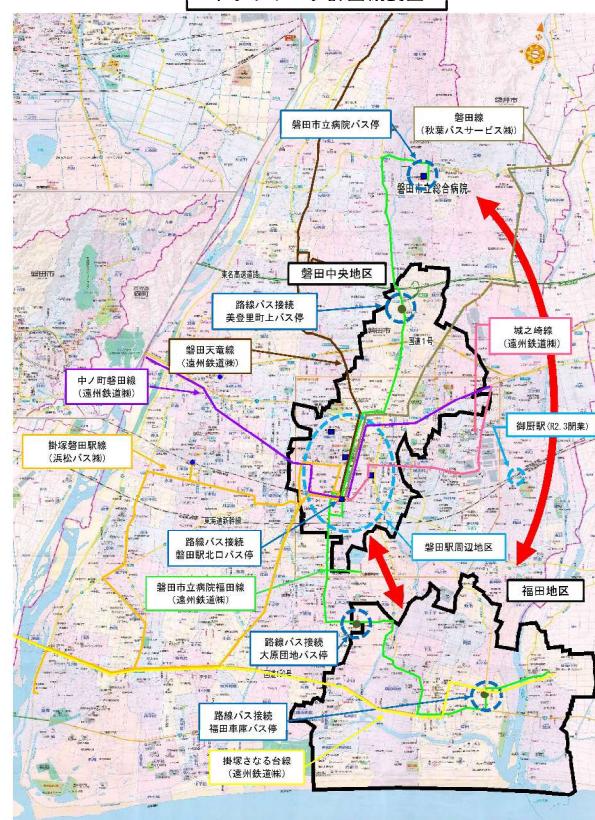
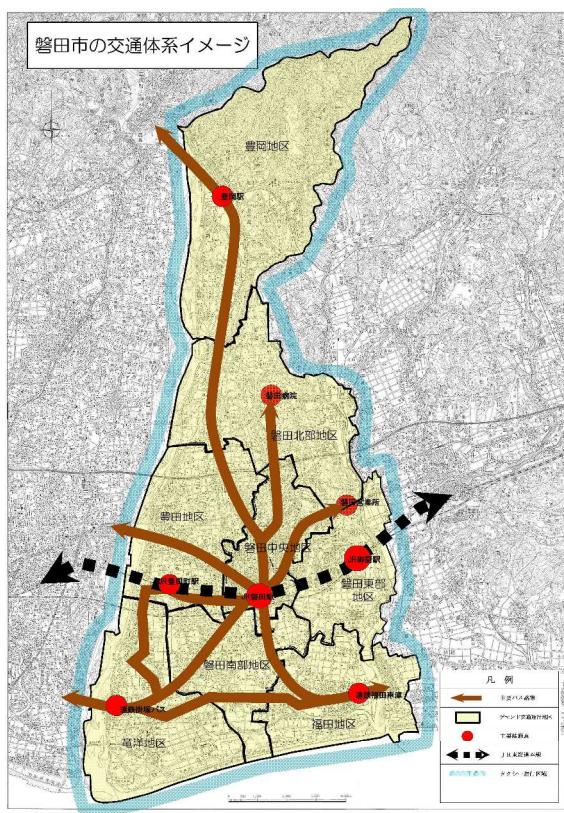
協議会名：	磐田市地域公共交通会議	
評価対象事業名：	地域内フイーダー系統確保維持費国庫補助金	<p>本市の公共交通は、6つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、市内全域で運行しているデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフイーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内にもどより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。</p> <p>今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民、関係機関が役割を分担し、相互に連携・協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。</p> <p>地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)</p>

デマンド型乗合タクシーの自己評価について

地域内フィーダー系統(福田線, 磐田中央線)

地域内フィーダー系統とは

地域内フィーダー系統とは、地域間幹線系統に対して、そのバス停などから、地域の細部に広がる区域運行や、支線です。



評価について

評価する目的

事業の実施状況について協議会が自ら評価を行うものであり、単に事業を完了させたかどうかだけでなく、事業の目的との関係を踏まえて、事業の実施状況の確認・改善点の検討を行う。

スケジュール

年	R6												R7												R8
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1				
公共交通会議	計画認定申請提出																						事業評価		

R6事業年度 補助対象(計画)運行期間

目標

市や交通事業者による利用促進策の実施や、誰もが使いやすい環境の整備により、持続性のある交通サービスとして確保・維持することを目標としている。

目標値

指 標	福 田 線	磐 田 中 心 線
1日あたり利用者数	14.4人	51.9人
交通結節点利用者	344人	771人

目標達成に向けた取組

1 啓発活動

- ・高齢者サロンでの制度周知
- ・磐田警察署の免許窓口での制度紹介
- ・地域の協議会や社会福祉協議会と協力した制度周知と登録促進
- ・市ホームページや市広報紙での周知



YouTubeに配信した利用促進動画

2 運行内容の見直し・利用促進方策等の検討

- ・今後の事業を持続可能にしていくために、「利用者負担額と公費負担額の見直し」を検討する。
- ・利用実態や利用者の要望の把握に努め、「目的地の追加等による利便性向上」等を検討する。

実績

デマンド型乗合タクシー利用状況 (運行期間: 令和6年10月～令和7年9月)

※上段網掛けは前年値

地区名	利用者数 (人/日)	交通結節点利用者数 (人)	乗合率 (人/車両台数)	全体利用者数 (人)
竜洋地区	22.3	1,212	1.5	6,535
	22.0	1,130		6,447
福田地区	16.2	390	1.6	4,741
	20.3	433		5,954
豊岡地区	7.7	148	1.5	2,234
	9.1	113		2,602
豊田地区	31.6	536	1.7	9,247
	36.3	673		10,622
磐田北部地区	6.7	428	1.4	1,955
	9.6	399		2,821
磐田東部地区	26.0	1,421	1.5	7,631
	29.6	1,432		8,679
磐田南部地区	18.2	582	1.5	5,332
	19.1	603		5,601
磐田中央地区	58.0	908	1.9	16,993
	68.8	1,193		20,157
合計	186.7	5,625	1.6	54,668
	214.8	5,976		62,883

単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

令和7年9月30日までに静岡県生活交通確保対策協議会に申し出のあった下記の単独継続困難路線（系統）及び本市自主運行路線（系統）については、地域住民の日常生活に必要な移動手段であることから、当該路線（系統）を生活交通として維持する必要があると判断する。

記

- 1 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）
4路線 7系統
- 2 単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）
5路線 26系統
- 3 市自主運行申出路線
10路線 13系統

～単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について～

単独継続困難申出路線とは、事業者単独で継続して運行が難しく、各種補助金を申請する必要がある路線のことで、毎年、県に申し出を行っています。

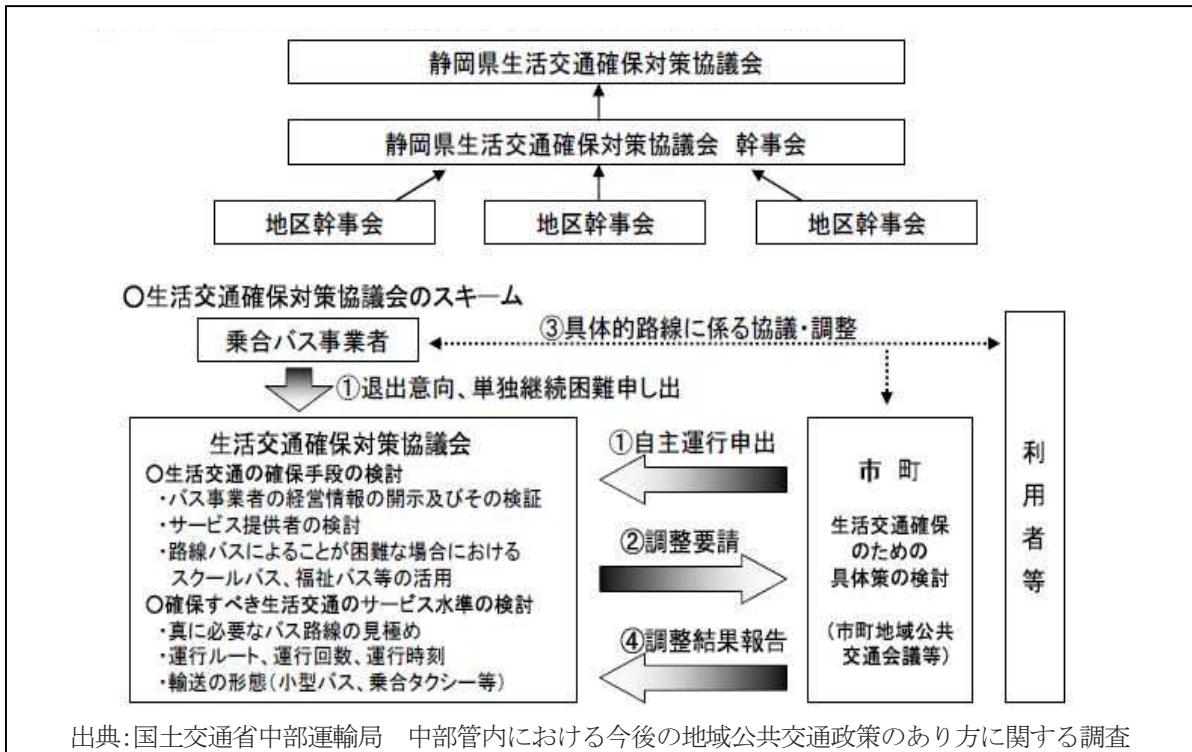
また、県地域公共交通活性化協議会バス専門部会運営要領により、申し出を行う路線は、運行状況や必要性について地域公共交通会議で諮ることとなっているため、本会議で協議するものです。

単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

1 要 旨

事業者単独での旅客自動車運送事業の継続が困難である旨の申出をした路線及び市が運行する旨の申出をした路線について、対応方策等を検討・調整するためご意見を伺うものです。

【静岡県における県協議会と市町協議会との調整要請の仕組み】



【補助制度】

令和8年度に交付される補助金と対象期間は次のとおりです。

- ・ 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金 令和7年10月～令和8年9月運行分
(国・県)
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 令和7年10月～令和8年9月運行分
(国)
- ・ 市町自主運行バス事業費補助金 令和7年4月～令和8年3月運行分
(県)
- ・ 磐田市生活バス路線維持費補助金国庫補助路線 令和7年10月～令和8年9月運行分
(市)
- ・ 磐田市生活バス路線維持費補助金市補助路線 令和7年10月～令和8年9月運行分
(市)
- ・ 磐田市広域生活バス路線磐田線運行事業費補助金 令和8年4月～令和9年3月運行分
(市)

2 対象路線

[単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）]

運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	・磐田市立総合病院から磐田駅を経由し、福田地区を結ぶ路線 ・磐田市立病院への通院、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
2		・浜松駅から磐田駅を経由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
3		・浜松市山東から磐田市北端部を経由し、磐田駅を結ぶ路線 ・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線
4		・浜松駅から掛塚を経由し、福田地区を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線

[単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）]

運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	・磐田駅から磐田東部地区を経由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
2		・浜松駅や磐田駅から磐田中央地区を経由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
3		・磐田駅から磐田中央地区を経由し、ららぽーと磐田を結ぶ路線 ・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線
4		・磐田駅から磐田中央地区を経由し、磐田市立総合病院を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
5		・浜松駅から掛塚を経由し、福田地区を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線

[市自主運行申出路線]

	運行主体 (事業者)	路線名	路線概要
1	磐田市 (秋葉バスサービス株)	磐田線	<ul style="list-style-type: none"> ・3市町(磐田市、袋井市、森町)の共同により運行 ・沿線の高校生の通学の足として磐田駅までをつなぐ必要な路線
2	磐田市 (遠鉄タクシー株)	デマンド型乗合タクシー (竜洋線)	<ul style="list-style-type: none"> ・竜洋地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
3		デマンド型乗合タクシー (福田線)	<ul style="list-style-type: none"> ・福田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
4		デマンド型乗合タクシー (豊岡線)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡地区～磐田市立総合病院～豊田町駅・磐田駅周辺 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
5		デマンド型乗合タクシー (磐田北部線)	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田北部地区～地区外商業施設～磐田駅周辺 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
6		デマンド型乗合タクシー (磐田東部線)	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田東部地区～磐田市立総合病院・磐田駅周辺 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
7		デマンド型乗合タクシー (磐田南部線)	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田南部地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
8		デマンド型乗合タクシー (豊田線)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
9		デマンド型乗合タクシー (磐田中央線)	<ul style="list-style-type: none"> ・磐田中央地区～磐田市立総合病院 ・高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
10	磐田市 (浜松バス株)	掛塚磐田駅線	<ul style="list-style-type: none"> ・竜洋地区(掛塚)から磐田駅を結ぶ路線 ・沿線の通勤・通学の足の確保に必要な路線

(1) 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）

番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況			
		経過地		実車走行 キロ(km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	
		終 点								
1	磐田市立 病院福田	磐田市立病院	R6年度	82,168.8	366	83,767	39,116,457	19,605,568	19,510,889	
		磐田駅	R7年度	85,225.0	365	86,883	42,541,763	20,504,237	22,037,526	
		豊浜郵便局	R8年度	85,479.1	365	87,142	44,633,767	21,630,425	23,003,342	
2	磐田市立 病院福田	磐田駅南口	R6年度	45,120.6	366	43,883	21,479,661	8,994,076	12,485,585	
		福田車庫	R7年度	48,430.5	365	47,102	24,175,053	9,734,301	14,440,752	
		豊浜郵便局	R8年度	48,641.8	365	47,308	25,398,802	9,936,648	15,462,154	
3	中ノ町磐田	浜松駅	R6年度	177,521.0	366	263,371	84,508,872	51,345,372	33,163,500	
		中ノ町	R7年度	177,118.5	365	262,774	88,412,242	51,655,863	36,756,379	
		磐田営業所	R8年度	177,176.7	365	262,860	92,514,586	56,498,468	36,016,118	
4	磐田天竜	山東	R6年度	79,165.1	366	66,324	37,686,545	20,884,465	16,802,080	
		新開	R7年度	79,033.6	365	66,214	39,451,202	21,023,522	18,427,680	
		磐田駅	R8年度	79,426.8	365	66,543	41,473,498	23,087,204	18,386,294	
5	磐田天竜	山東	R6年度	257,571.6	366	199,848	122,616,960	54,126,514	68,490,446	
		ららぼーと磐田	R7年度	257,127.0	365	199,503	128,350,085	54,483,361	73,866,724	
		磐田駅	R8年度	258,312.6	365	200,423	134,880,507	59,813,698	75,066,810	
6	掛塚さなる台	浜松駅	R6年度	52,419.0	366	64,050	24,954,064	14,250,158	10,703,906	
		掛塚	R7年度	52,332.5	365	63,944	26,122,814	14,345,198	11,777,616	
		豊浜郵便局	R8年度	52,592.0	365	64,261	27,461,439	15,752,902	11,708,537	
7	掛塚さなる台	浜松駅	R6年度	124,586.4	366	235,344	59,309,355	49,283,399	10,025,956	
		芳川	R7年度	124,269.0	365	234,744	62,031,357	49,567,492	12,463,865	
		掛塚	R8年度	124,248.3	365	234,705	64,877,492	54,202,709	10,674,784	
合計			R6年度	818,552.5	365	956,587	389,671,914	218,489,552	171,182,362	
			R7年度	823,536.1	365	961,164	411,084,516	221,313,974	189,770,542	
			R8年度	825,877.3	365	963,242	431,240,091	240,922,054	190,318,039	

【備考】

①R6年度（R05.10.01～R06.09.30）は実績値、R7年度（R06.10.01～R07.09.30）とR8年度（R07.10.01～R08.09.30）は見込値を記載しています。

②令和4年度までは、系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額の1/2を磐田市が補助しました。

③令和5年度からは、系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額を磐田市が補助します。

(2) 単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）

番号	系統名 (路線名)	代表起点	年度	運行の状況			収支の状況			
		代表経過地		実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	
		代表終点								
1	城之崎	磐田駅	R5年度	15,837.5	366	22,000	7,113,413	3,004,721	4,108,692	
		城之崎	R6年度	15,787.5	365	23,611	7,765,240	3,494,451	4,270,789	
		磐田営業所	R7年度	15,787.5	365	23,611	7,880,646	3,523,571	4,357,075	
2	中ノ町磐田	磐田営業所	R5年度	124,431.4	366	218,396	55,888,363	40,470,914	15,417,450	
		磐田駅	R6年度	124,073.9	365	215,530	61,026,988	42,476,283	18,550,706	
		浜松駅	R7年度	124,073.9	365	215,530	61,933,969	42,830,251	19,103,718	
3	磐田天竜	磐田駅	R5年度	323,011.0	366	323,845	145,080,391	116,432,375	28,648,016	
		ららぼーと磐田	R6年度	322,015.8	365	292,757	158,386,691	109,676,000	48,710,691	
		山東	R7年度	322,015.8	365	292,757	160,740,627	110,589,966	50,150,661	
4	磐田市立 病院福田	磐田駅	R5年度	183,991.9	366	228,708	82,639,962	42,777,312	39,862,650	
		旧見付学校	R6年度	183,754.0	365	225,190	90,381,242	43,489,883	46,891,359	
		磐田市立病院	R7年度	183,754.0	365	225,190	91,724,484	43,852,298	47,872,186	
5	掛塚さなる台	掛塚	R5年度	48,172.1	366	78,918	21,636,499	16,565,329	5,071,169	
		芳川	R6年度	48,009.2	365	79,031	23,613,805	17,258,431	6,355,374	
		浜松駅	R7年度	48,009.2	365	79,031	23,964,752	17,402,251	6,562,501	
合計			R5年度	695,443.9	366	871,868	312,358,628	219,250,651	93,107,977	
			R6年度	693,640.4	365	836,120	341,173,967	216,395,048	124,778,919	
			R7年度	693,640.4	365	836,120	346,244,478	218,198,337	128,046,141	

【備考】

①R5年度（R05.04.01～R06.03.31）とR6年度（R06.04.01～R07.03.31）は実績値、R7年度（R07.04.01～R08.03.31）は見込値を記載しています。

②令和5年度からは、系統ごとに経常欠損額を磐田市が補助します。

(3) 市自主運行申出路線（秋葉バスサービス株式会社）

番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況			
		経過地		実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	
		終 点								
1	磐田線 (森山入口)	磐田駅	R5年度	31,508.4	242	19,118	11,561,692	4,579,235	6,982,457	
		森山入口	R6年度	31,248.0	240	18,446	13,880,361	5,308,081	8,572,280	
		遠州森町	R7年度	31,117.8	239	17,520	15,762,099	5,185,000	10,577,099	
2	磐田線 (森町病院)	磐田駅	R5年度	21,299.0	242	11,616	7,815,455	4,442,232	3,373,223	
		森町病院	R6年度	21,122.3	240	18,040	9,382,525	5,152,812	4,229,713	
		遠州森町	R7年度	21,032.0	239	13,200	10,653,338	5,071,000	5,582,338	
		合計	R5年度	52,807.4	242	30,734	19,377,147	9,021,467	10,355,680	
			R6年度	52,370.3	240	36,486	23,262,886	10,460,893	12,801,993	
			R7年度	52,149.8	239	30,720	26,415,437	10,256,000	16,159,437	

【備考】

- ①R5年度（R05.04.01～R06.03.31）とR6年度（R06.04.01～R07.03.31）は実績値、R7年度（R07.04.01～R08.03.31）は見込値を記載しています。
 ②関係市町（袋井市、森町）との合算した数値を記載しています。
 ③経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

(3) 市自主運行申出路線（遠鉄タクシー株式会社）

番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況			
		経過地		実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	
		終 点								
1	デマンド型 乗合タクシー (竜洋)	竜洋地区	R5年度	34,767.0	293	6,280	12,754,230	2,440,700	10,313,530	
		豊田町駅・磐田駅	R6年度	34,481.0	294	6,442	14,371,808	2,417,400	11,954,408	
		磐田市立総合病院	R7年度	38,192.0	299	6,828	15,799,763	2,625,202	13,174,561	
2	デマンド型 乗合タクシー (福田)	福田地区	R5年度	19,966.0	293	4,116	7,863,560	1,631,500	6,232,060	
		磐田駅周辺	R6年度	24,417.0	293	5,196	10,943,856	2,034,100	8,909,756	
		磐田市立総合病院	R7年度	23,464.0	299	5,182	11,663,652	1,999,402	9,664,250	
3	デマンド型 乗合タクシー (豊岡)	豊岡地区	R5年度	9,330.0	292	2,178	4,539,260	728,300	3,810,960	
		豊田町駅・磐田駅	R6年度	11,264.0	285	2,444	5,350,928	841,800	4,509,128	
		なぎの木会館	R7年度	13,720.0	298	2,769	6,231,169	948,202	5,282,967	
4	デマンド型 乗合タクシー (磐田北部)	磐田北部地区	R5年度	11,592.0	291	1,885	4,894,120	853,000	4,041,120	
		磐田駅周辺	R6年度	13,119.0	292	2,295	6,240,806	1,018,700	5,222,106	
		なぎの木会館	R7年度	16,950.0	299	3,049	8,542,380	1,318,402	7,223,978	
5	デマンド型 乗合タクシー (磐田東部)	磐田東部地区	R5年度	27,996.0	293	7,339	13,625,260	2,586,900	11,038,360	
		磐田駅周辺	R6年度	30,401.0	293	8,102	15,372,258	2,743,100	12,629,158	
		なぎの木会館	R7年度	33,842.0	299	8,890	18,305,364	2,913,998	15,391,366	
6	デマンド型 乗合タクシー (磐田南部)	磐田南部地区	R5年度	22,203.0	293	5,130	9,799,300	2,003,100	7,796,200	
		豊田町駅・磐田駅	R6年度	24,211.0	293	5,477	11,148,368	2,081,400	9,066,968	
		磐田市立総合病院	R7年度	23,162.0	299	5,529	11,763,708	2,060,198	9,703,510	
7	デマンド型 乗合タクシー (豊田)	豊田地区	R5年度	32,996.0	293	8,622	12,488,690	2,929,400	9,559,290	
		磐田駅周辺	R6年度	36,847.0	293	10,026	15,662,603	3,307,700	12,354,903	
		磐田市立総合病院	R7年度	38,970.0	299	10,835	18,607,535	3,588,202	15,019,333	
8	デマンド型 乗合タクシー (磐田中央)	磐田中央地区	R5年度	43,184.0	293	15,157	19,634,120	4,587,900	15,046,220	
		磐田駅周辺	R6年度	55,648.0	293	18,949	25,168,429	5,637,300	19,531,129	
		磐田市立総合病院	R7年度	58,342.0	299	20,866	30,014,401	6,117,398	23,897,003	
		合計	R5年度	202,034.0	293	50,707	85,598,540	17,760,800	67,837,740	
			R6年度	230,388.0	292	58,931	104,259,056	20,081,500	84,177,556	
			R7年度	246,642.0	299	63,948	120,927,972	21,571,004	99,356,968	

【備考】

- ①R5年度（R05.04.01～R06.03.31）とR6年度（R06.04.01～R07.03.31）は実績値、R7年度（R07.04.01～R08.03.31）は見込値を記載しています。
 ②番号2・8の福田線・磐田中央線の2路線は、経常欠損額1/2の国庫補助を受けています。
 ③その他の路線は、経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

(3) 市自主運行申出路線 (浜松バス株式会社)

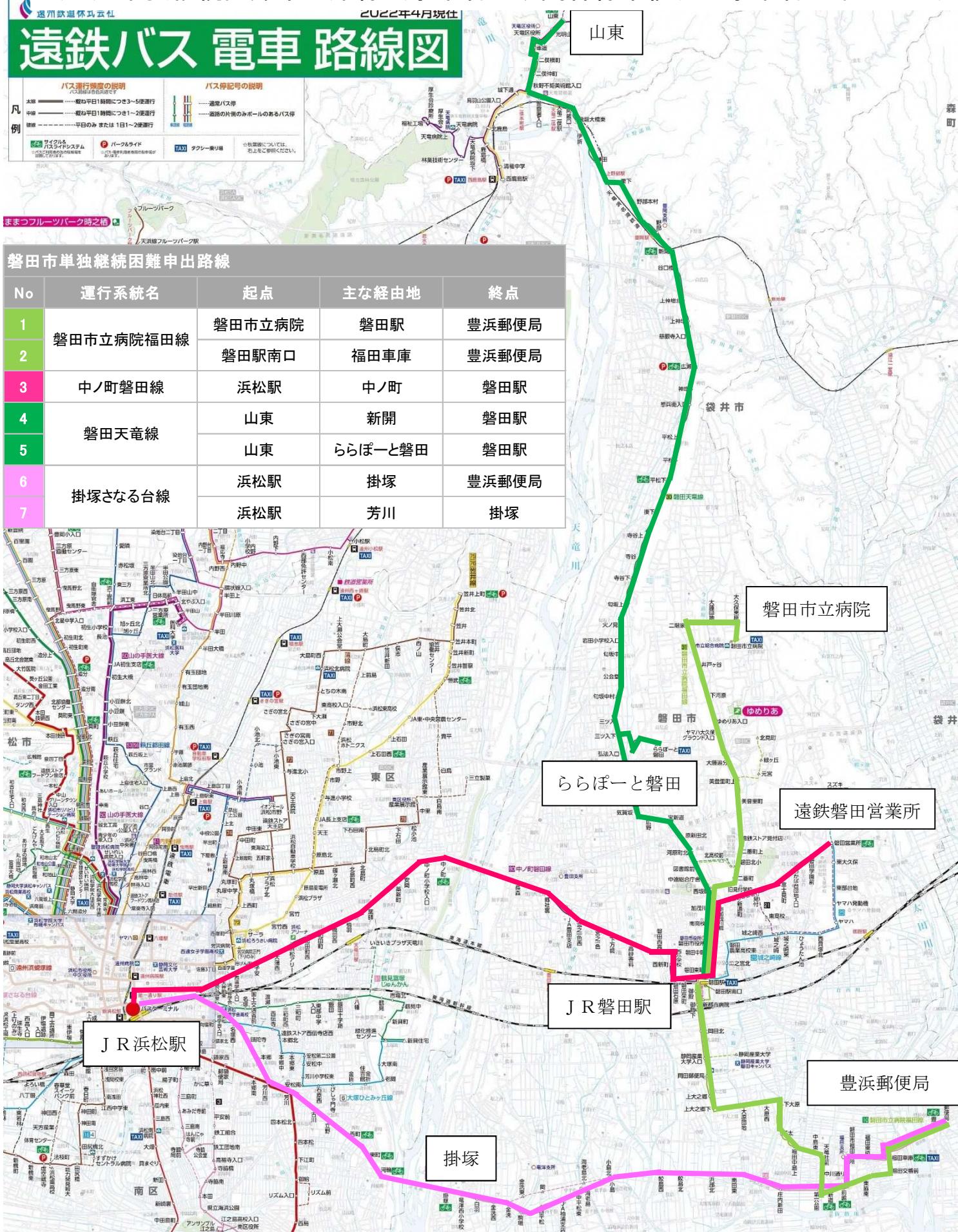
番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況			
		経過地		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	
		終 点								
1	掛塚磐田駅線 (とつか)	掛塚蟹町	R5年度	38,055.0	295	11,490	15,750,294	2,217,448	13,532,846	
		とつか・豊田町駅	R6年度	37,797.0	293	13,537	19,178,699	2,571,434	16,607,265	
		磐田駅	R7年度	37,668.0	292	11,000	22,947,023	2,820,860	20,126,163	
2	掛塚磐田駅線 (千手堂)	掛塚蟹町	R5年度	24,691.5	295	8,771	10,219,377	1,692,710	8,526,667	
		千手堂	R6年度	24,486.9	293	9,755	12,443,853	1,853,020	10,590,833	
		磐田駅	R7年度	24,440.4	292	8,700	14,888,882	1,767,200	13,121,682	
3	掛塚磐田駅線 (北高)	掛塚蟹町	R5年度	3,569.5	295	5,002	1,477,353	965,333	512,020	
		千手堂・磐田駅	R6年度	3,536.0	293	5,484	1,798,932	1,041,719	757,213	
		磐田北高	R7年度	3,533.2	292	5,000	2,152,395	1,177,136	975,259	
		合計	R5年度	66,316.0	295	25,263	27,447,024	4,875,491	22,571,533	
			R6年度	65,819.9	293	28,776	33,421,484	5,466,173	27,955,311	
			R7年度	65,641.6	292	24,700	39,988,300	5,765,196	34,223,104	

【備考】

①R5年度 (R05. 04. 01～R06. 03. 31) とR6年度 (R06. 04. 01～R07. 03. 31) は実績値、R7年度 (R07. 04. 01～R08. 03. 31) は見込値を記載しています。

②経常欠損額または経常費用の 9 /20 のいずれか少ない額の 1 / 2 の県費補助を受けています。

(1) 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）



(2) 単独継続困難申出路線 (事業者市町単独補助系統)

2022年4月現在

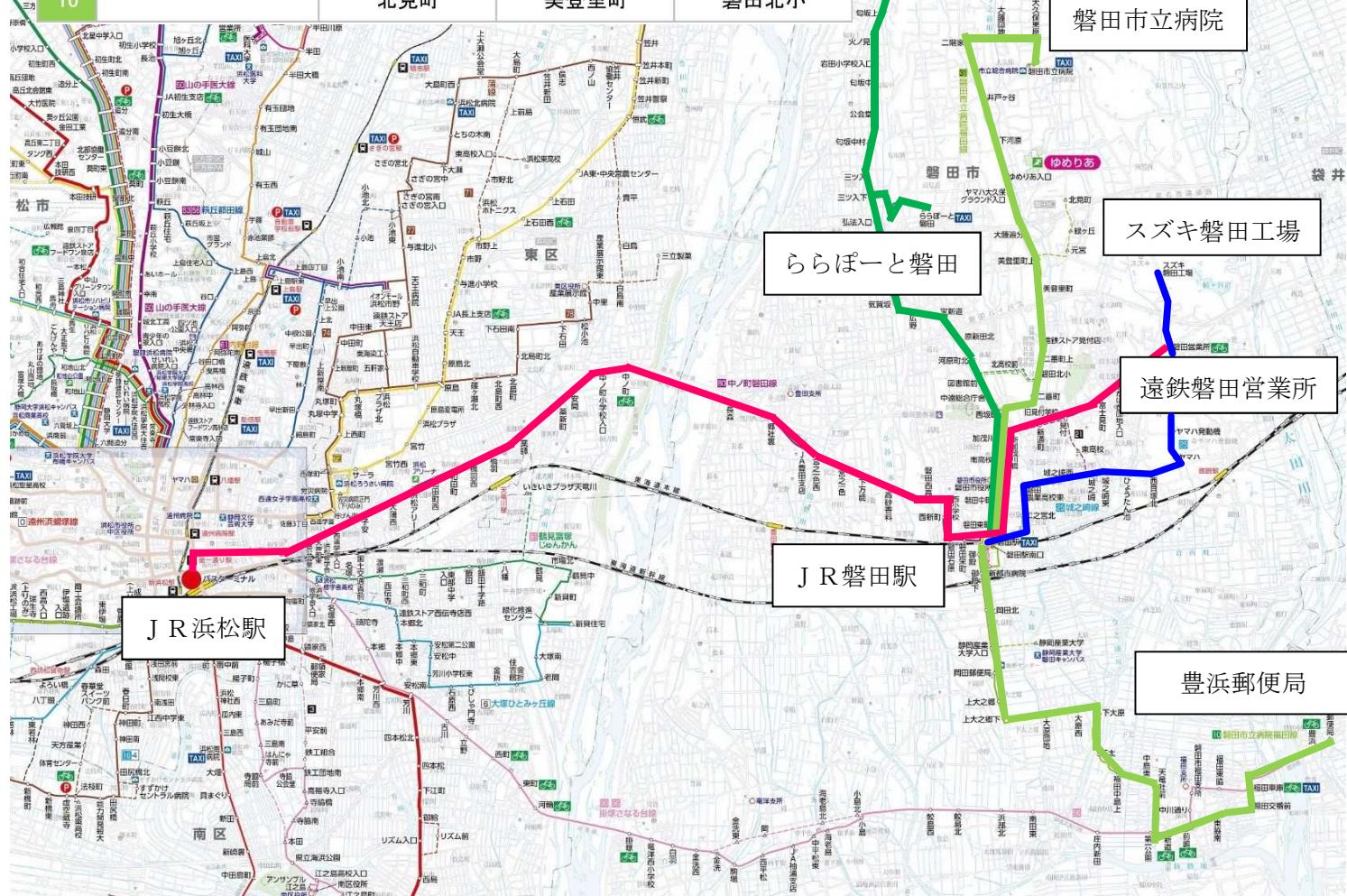


遠鉄バス 電車 路線図

バス運行頻度の説明		バス停記号の説明	
太線	運行平日1時間につき3~5便運行	…	通常バス停
中線	運行平日1時間につき1~2便運行	…	道路の片側のみボルのあるバス停
緑線	運行日のみまたは1日1~2便運行	…	
※サブバス・バリアフリーシステム			● パーク＆ライド
※バス停記号の詳細な説明			● TAXI タクシー乗り場
※料金表記は運賃表記の料金表記			● お墓参りについて、石上をご参拝ください。

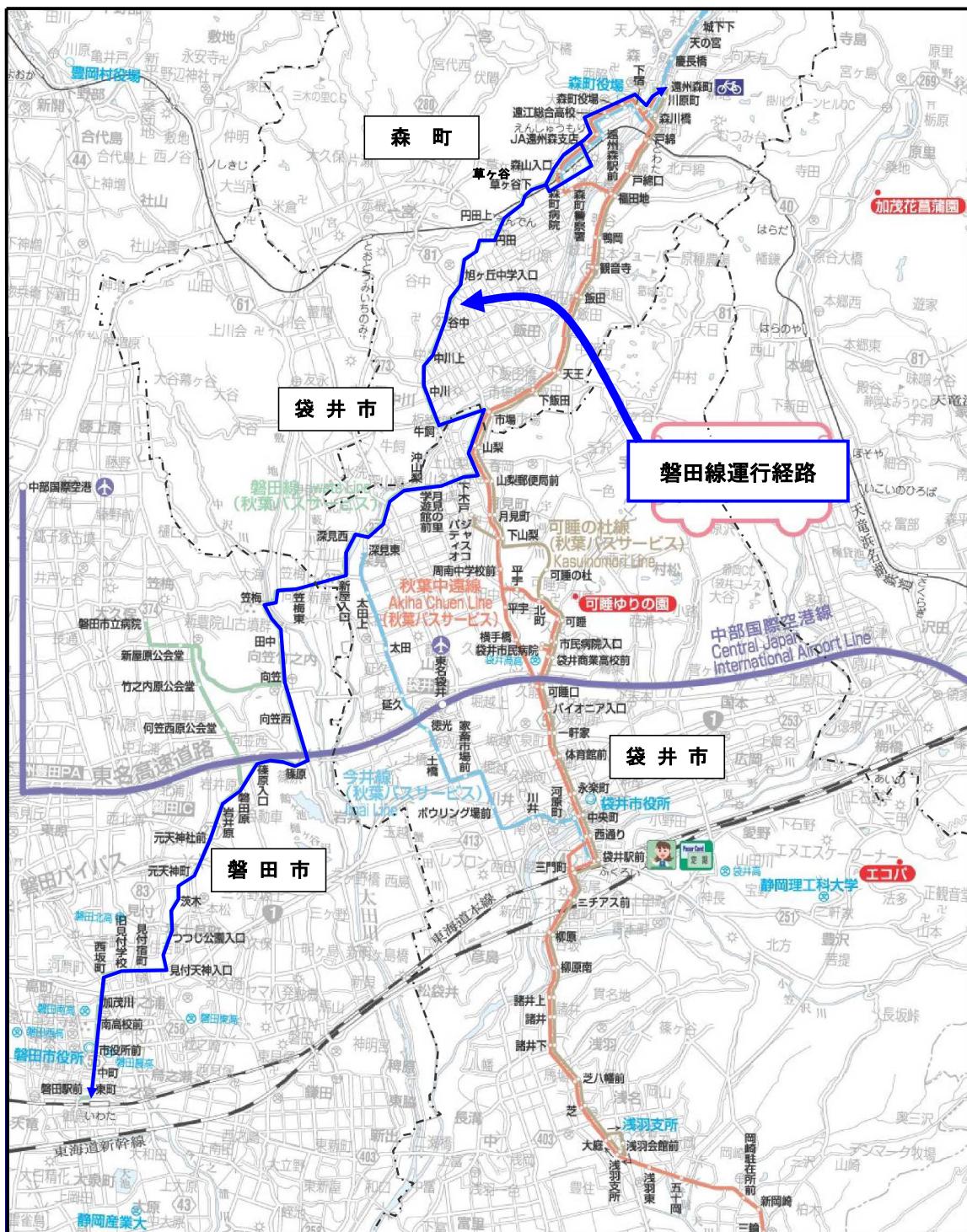
磐田市単独継続困難申出路線

No	運行系統名	起点	主な経由地	終点
1	城之崎線	磐田駅	城之崎	磐田営業所
2		磐田駅	城之崎・磐田営業所	スズキ
3		磐田駅	東高校・城之崎	磐田営業所
4	中ノ町磐田線	磐田駅	加茂川	磐田営業所
5		磐田営業所	東高校	浜松駅
6	磐田天竜線	磐田駅	加茂川	ららぽーと磐田
7		磐田駅	本通	磐田市立病院
8	磐田市立病院福田線	磐田駅	北高校前	磐田市立病院
9		磐田駅	加茂川	北高校前
10		北見町	美登里町	磐田北小



(3) ①市自主運行申出路線

「磐田線」路線図



■ 運行内容

(1) 運行系統 2系統

	起点	経由地	終点	キロ程	磐田市内 キロ程
1	遠州森町	森町病院	磐田駅	22.0 km	9.7 km
2	遠州森町	森山入口	磐田駅	21.7 km	9.7 km

(2) 運行日

平日運行（土曜日、日曜日及び祝日は運休）

磐田市デマンド(予約)型乗合タクシー



お助け号



「お助け号」って
どんな乗り物?

お助け号は、地区内の
通院や買物などに利用できる乗合
サービスです。

自宅と指定施設の間を、運行時刻を定
め乗合とすることで低額でご利用いた
だけます。

地区外の通院や買物には、路線バスや
一般タクシーをご利用ください。



使い方は?

利用者登録を事前にします。
利用者登録完了の後、電話で利用
する運行便を予約して使います。
詳しい使い方については、次の
ページをご確認ください。



誰が使えるの?

お住いの地区的路線に
限りどなたでも使えます。
ただし、磐田中央線は、
「65歳以上」または、「障
害者手帳等所持者とそ
の介助者のみ」利用する
ことができます。



運行日: 月曜日~土曜日
運休日: 日曜日・祝日・年末年始(12/31~1/3)
運行時刻: 最後のページにて確認してください。



乗降場所 表示



お助け号 乗合所

デマンド型乗合タクシー
利用者登録制
事前予約制

① 自宅と駅院・買い物など
定められた施設の間を
送迎します。
② 「定期運賃」で利用できます。
③ 相乗りで運行します。
④ 必要なときだけ予約により
運行します。
⑤ 決まつた運行時刻があります。
⑥ 利用地図が決まっていて
利用者登録が必要です。

自治デザイン課 TEL 0538-37-4751

または



事前予約に基づ
いて運行します。
お急ぎの方は
一般タクシーを
ご利用ください。



「お助け号」は、
一般タクシーのように、
すべての場所に行くこと
はできません。

掛塚磐田駅線マップ

運行日 月曜日～土曜日

※ 日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は運行しません

問合せ: 浜松バス(株) 053-584-4000

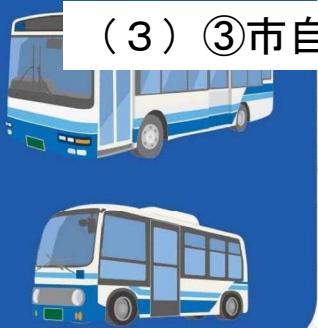
http://www.hamabus.co.jp/route/kaketsukaiwata

※ 詳細は浜松バス(株)のホームページをご覧ください



とつか系統

● 掛塚行 Outbound line										● 磐田駅行 Inbound line											
平日					土曜日					平日					土曜日						
停留所	1便	2便	3便	4便	5便	1便	2便	3便	4便	5便	1便	2便	3便	4便	5便	1便	2便	3便	4便	5便	
磐田駅 (WATA-EKI)	6:19	7:50	16:15	18:00	19:30	6:19	7:50	16:15	18:00	19:30	磐田 KAMACHI	7:00	8:49	16:00	17:22	19:15	7:00	8:49	16:00	17:22	19:15
西幡寺 SANJANI	6:21	7:52	16:16	18:01	19:31	6:21	7:52	16:16	18:01	19:31	掛塚 KAKETSU	7:02	8:52	16:03	17:25	19:17	7:02	8:52	16:03	17:25	19:17
上野公園 UENO KOREN	6:22	7:54	16:17	18:02	19:32	6:22	7:53	16:17	18:02	19:32	鶴井西小 RYUJO-NISHI	7:02	8:52	16:03	17:25	19:17	7:03	8:53	16:04	17:26	19:18
磐田西 NISHIATANAKA	6:23	7:56	16:19	18:05	19:34	6:23	7:56	16:19	18:05	19:34	白羽 SHIROWA	7:03	8:53	16:04	17:26	19:18	7:03	8:53	16:04	17:26	19:18
西新町西 NISHISHINMACHI-NISHI	6:24	7:57	16:20	18:06	19:35	6:24	7:56	16:20	18:06	19:35	金洗西 KANEARAI-NISHI	7:04	8:54	16:05	17:27	19:19	7:05	8:55	16:06	17:27	19:19
天竜 TENRYU	6:26	7:59	16:22	18:08	19:37	6:26	7:57	16:22	18:08	19:37	金洗東 KANEARAI-HASHI	7:05	8:55	16:06	17:27	19:19	7:05	8:55	16:06	17:27	19:19
天竜西 TENRYU-NISHI	6:26	8:00	16:22	18:08	19:38	6:26	7:58	16:22	18:08	19:38	高井支所 RYUJO-SHIBUYA	7:07	8:57	16:08	17:29	19:20	7:07	8:57	16:08	17:29	19:20
掛塚 KAKETSU	6:27	8:02	16:23	18:09	19:39	6:27	8:02	16:23	18:09	19:39	あおば団地 AOBADANCHI	7:07	8:57	16:08	17:29	19:20	7:07	8:57	16:08	17:29	19:20
掛原島 SAKAHARAJIMA	6:28	8:03	16:24	18:10	19:40	6:28	8:03	16:24	18:10	19:40	なごの木会館 NAGINOKI-KAikan	7:09	8:59	16:10	17:30	19:22	7:09	8:59	16:10	17:30	19:22
下本郷西 SHIMONOKO-HASHI	6:30	8:04	16:24	18:11	19:40	6:30	8:04	16:24	18:11	19:40	電洋支所 RYUJO-HENDENSYO	7:11	9:00	16:11	17:31	19:23	7:11	9:00	16:11	17:31	19:23
下本郷東 SHIMONOKO-NAKA	6:30	8:04	16:25	18:12	19:41	6:30	8:04	16:25	18:12	19:41	高井支所 RYUJO-HENDENSYO	7:11	9:00	16:11	17:31	19:23	7:11	9:00	16:11	17:31	19:23
豊田駅 (WATA-EKI)	6:32	8:08	16:30	18:17	19:45	6:32	8:08	16:30	18:17	19:45	とつか TOTSUKA	7:13	9:01	16:12	17:32	19:24	7:13	9:01	16:12	17:32	19:24
下木郷西 SHIMONOKO-NISHI	6:33	8:09	16:31	18:18	19:47	6:33	8:09	16:31	18:18	19:47	赤池 AKARI	7:14	9:07	16:13	17:33	19:25	7:14	9:07	16:13	17:33	19:25
赤池 AKARI	6:34	8:10	16:32	18:19	19:48	6:34	8:10	16:32	18:19	19:48	高井上 TAKAO-KAM	7:14	9:02	16:13	17:34	19:25	7:14	9:02	16:13	17:34	19:25
高井中 RYUJO-NISHI	6:35	8:11	16:33	18:20	19:49	6:35	8:11	16:33	18:20	19:49	吉本 MIYAMOTO	7:15	9:03	16:14	17:35	19:26	7:15	9:03	16:14	17:35	19:26
高木上 TAKAGI-KAMI	6:35	8:11	16:33	18:20	19:49	6:35	8:11	16:33	18:20	19:49	高井中島 KYUROYOKAJIMA	7:15	9:03	16:14	17:36	19:26	7:15	9:03	16:14	17:36	19:26
高木 TAKAGI	6:37	8:13	16:35	18:22	19:51	6:37	8:13	16:35	18:22	19:51	下木郷西 SHIMONOKO-NISHI	7:17	9:05	16:16	17:41	19:30	7:17	9:05	16:16	17:41	19:30
とつか TOTSUKA	6:39	8:14	16:37	18:24	19:52	6:39	8:14	16:37	18:24	19:52	豊田駅 (WATA-EKI)	7:20	9:08	16:20	17:45	19:32	7:20	9:08	16:20	17:45	19:32
電洋支所北 RYUJO-HENDENYO-KITA	6:40	8:15	16:38	18:25	19:53	6:40	8:15	16:38	18:25	19:53	下木郷中 SHIMONOKO-NAKA	7:21	9:10	16:21	17:46	19:33	7:21	9:10	16:21	17:46	19:33
電洋支所 RYUJO-HENDENSYO	6:40	8:15	16:38	18:25	19:53	6:40	8:15	16:38	18:25	19:53	下木郷東 SHIMONOKO-NAKONI	7:21	9:10	16:21	17:46	19:33	7:21	9:10	16:21	17:46	19:33
電洋支所小 RYUJO-NISHI	6:47	8:22	16:44	18:31	20:01	6:47	8:22	16:44	18:31	20:01	上野公園 UENO-KOREN	7:23	9:19	16:30	17:55	19:44	7:23	9:19	16:30	17:55	19:44
掛塚 KAKETSU	6:48	8:23	16:46	18:33	20:02	6:48	8:23	16:46	18:33	20:02	西新町西 NISHISHINMACHI-NISHI	7:24	9:20	16:31	17:56	19:45	7:22	9:20	16:31	17:56	19:45
磐田 KANIMACH	6:50	8:26	16:49	18:36	20:04	6:50	8:26	16:49	18:36	20:04	磐田駅 (WATA-EKI)	7:45	9:25	16:36	17:58	19:50	7:36	9:25	16:36	17:58	19:50



(3) ③市自主運行申出路線

とつか系統

千手堂系統

北高系統

バス停

バス停名称

鉄道



JR

豊

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

ば

案

内

図

案

JR

磐

田

駅

の

り

デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

デマンド型乗合タクシーの運行内容を下記のとおり変更するものとする。

記

1 地区内施設の変更内容

【新規追加】

路線名	施設名	運賃（片道）
豊田線	フィール エクボスタイル磐田豊田店	400円/人
豊田線	浜松いわた信用金庫 豊田支店・豊田北支店	400円/人
磐田中央線	さくら健康管理メディカルクリニック	400円/人

【住所変更】

路線名	施設名	変更前	変更後	運賃(片道)
磐田東部線	遠州中央農協 東部支店	磐田市鎌田743-5	磐田市鎌田第一土地 区画整理組合仮換地 53街区1	400円/人

【名称変更】

路線名	変更前	変更後	運賃（片道）
豊岡線	いしづかクリニック	おざわ診療所	400円/人
磐田南部線	上岡田内科小児科医院	上岡田医院	400円/人

【廃止】

路線名	施設名	運賃（片道）
豊田線	浜松いわた信用金庫 豊田支店	400円/人
豊田線	浜松いわた信用金庫 豊田北支店	400円/人
磐田東部線	遠州中央農協 西貝支店	400円/人
磐田東部線	藤井マタニティクリニック	400円/人
磐田中央線	高尾医院	400円/人

2 実施時期

令和8年2月24日から

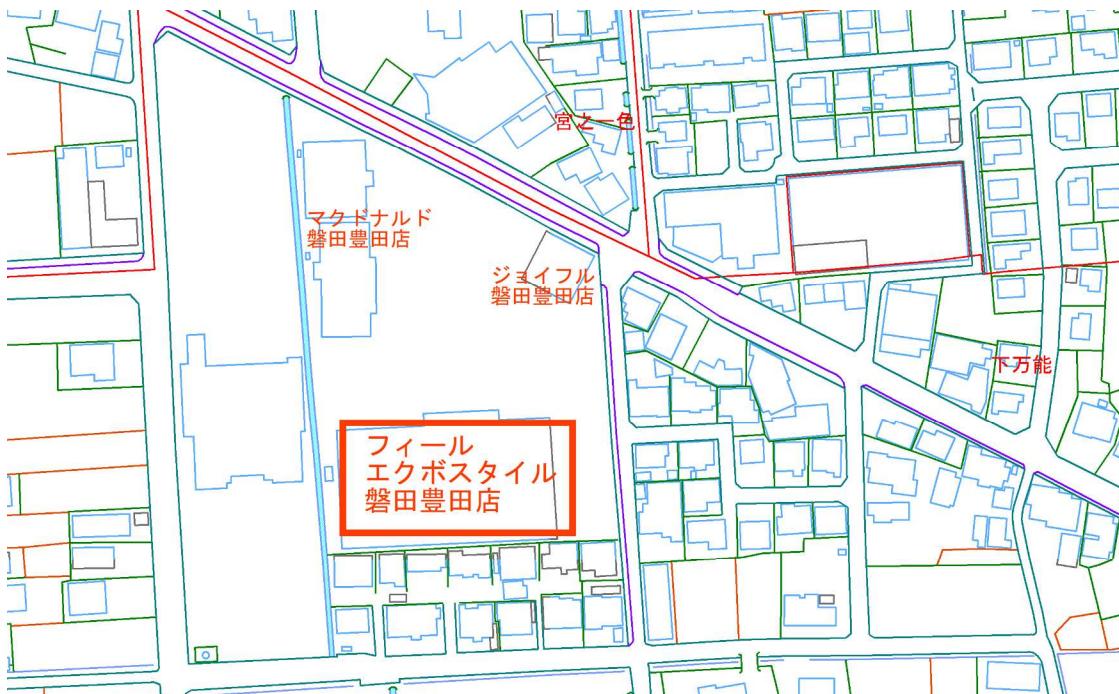
磐田市デマンド型乗合タクシー指定施設位置図

施設名 フィール エクボスタイル磐田豊田店

住 所 磐田市下万能 413

理 由 新規開業のため

【位置図】

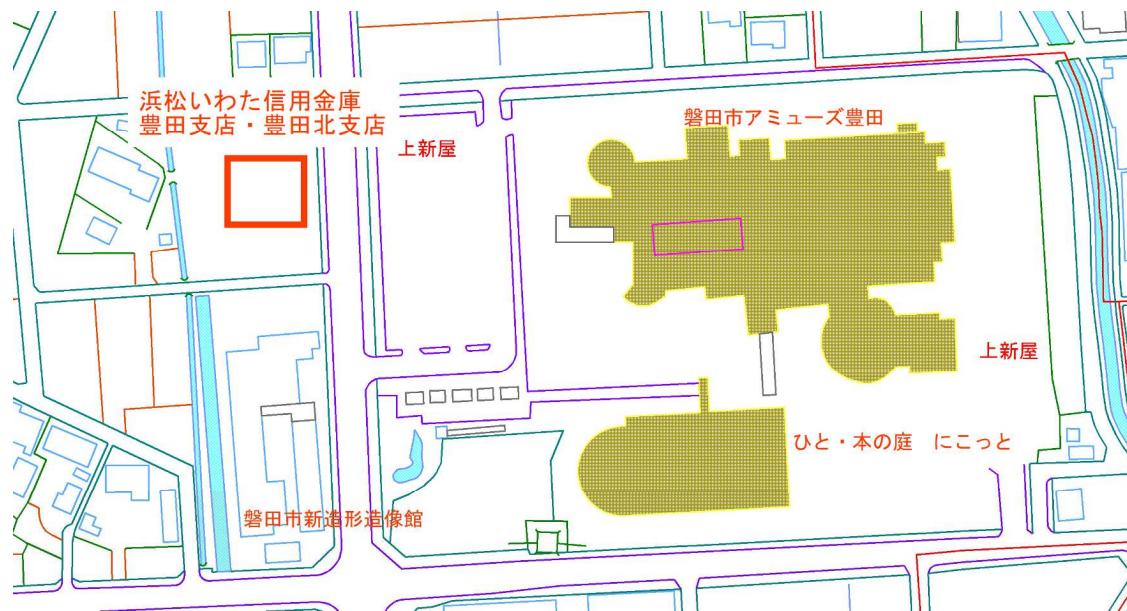


施設名 浜松いわた信用金庫 豊田支店・豊田北支店

住 所 磐田市上新屋 496-1

理 由 支店統合により新たに開業のため

【位置図】

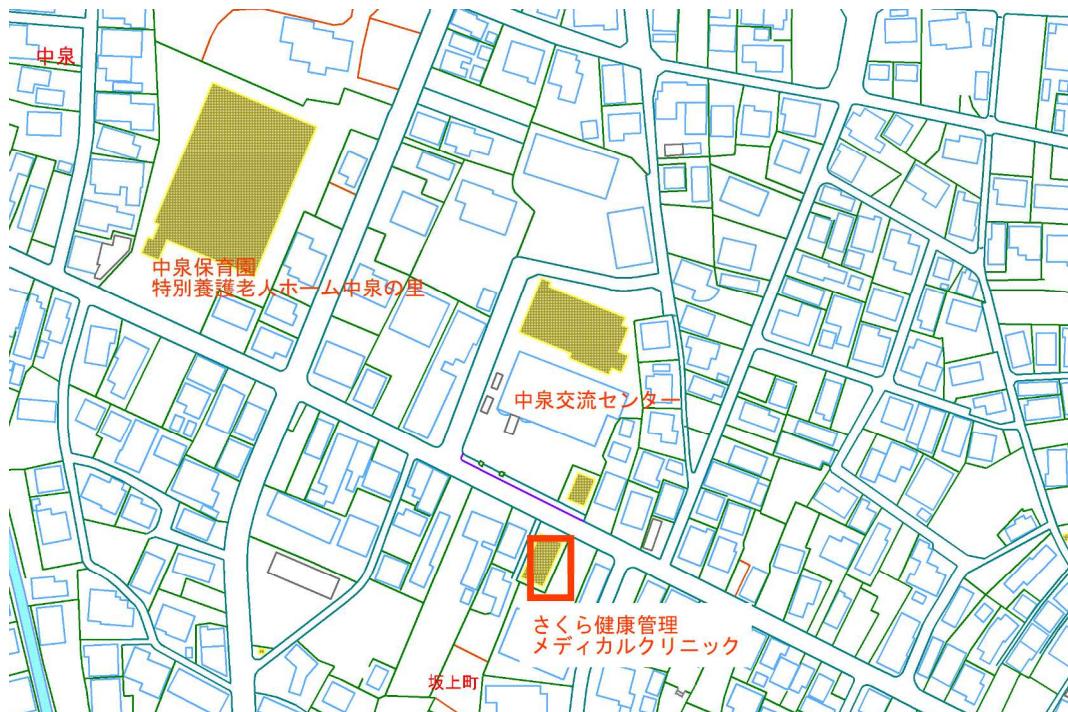


施設名 さくら健康管理メディカルクリニック

住 所 磐田市中泉 3000-1

理 由 特定施設に未登録だったため

【位置図】

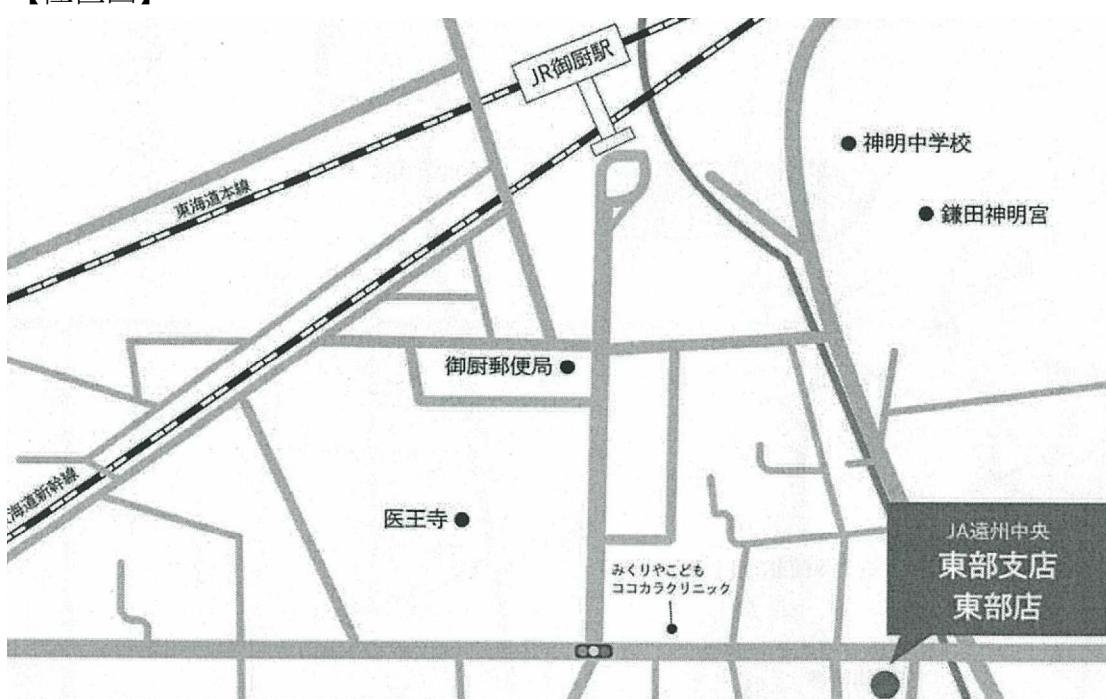


施設名 遠州中央農協 東部支店

住 所 磐田市鎌田第一土地区画整理組合仮換地 53 街区 1

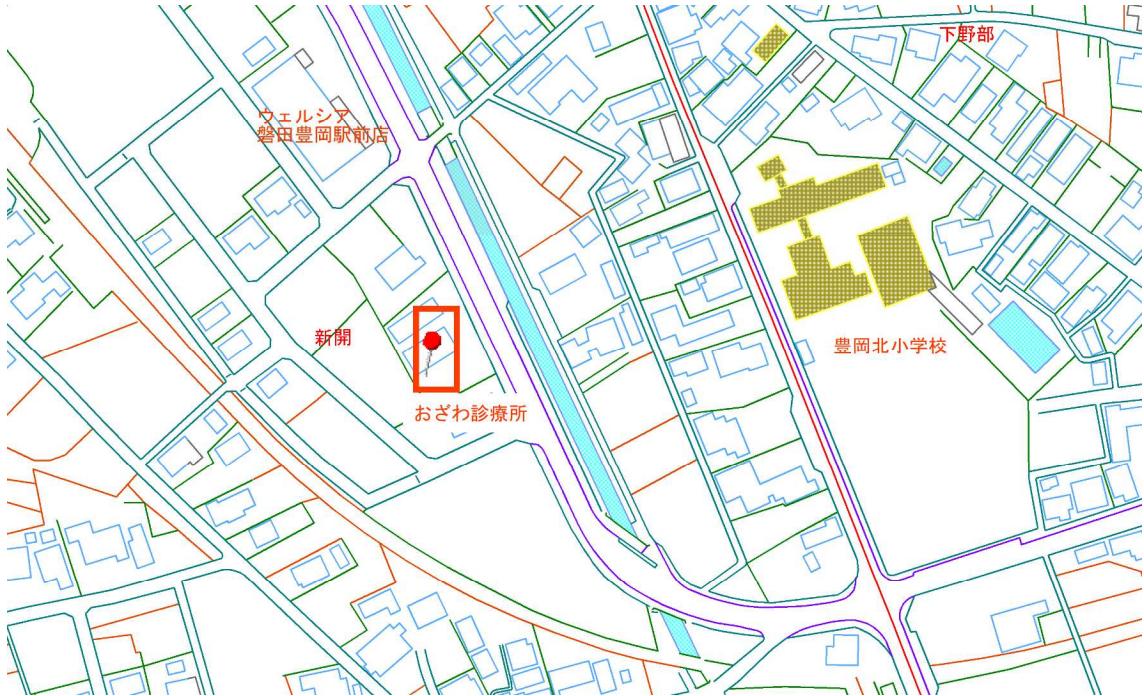
理 由 新店舗建設に伴う移転のため

【位置図】



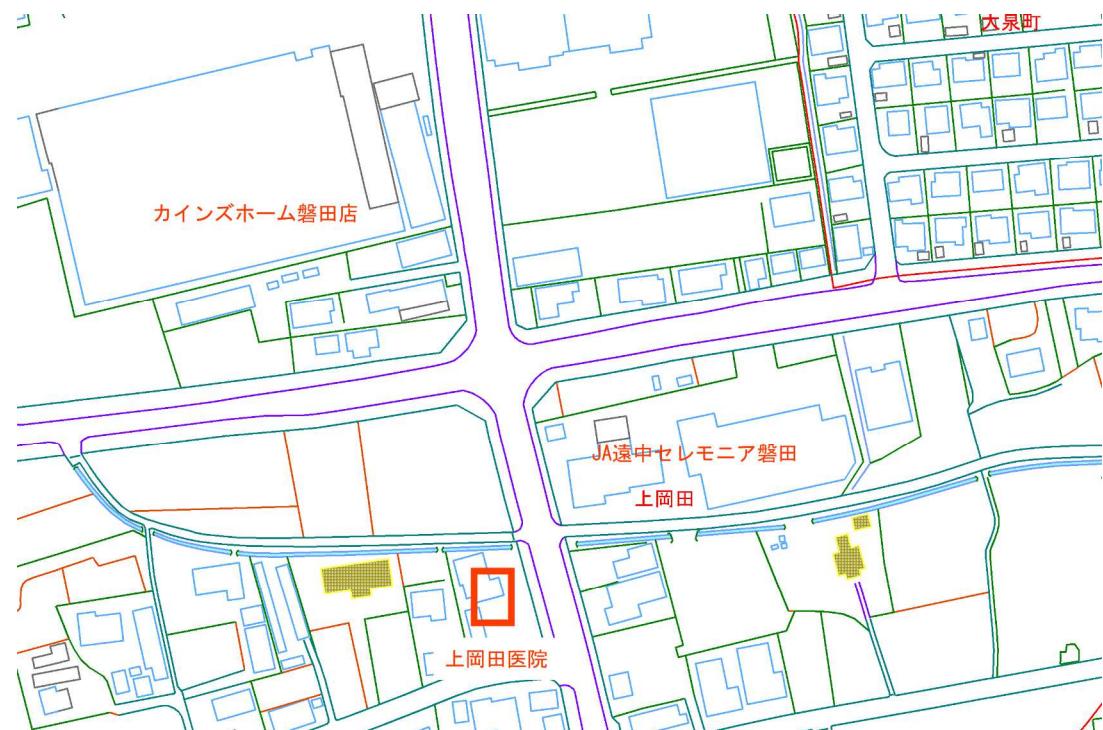
施設名 おざわ診療所
住 所 磐田市新開 946
理 由 医療機関名変更のため

【位置図】



施設名 上岡田医院
住 所 磐田市上岡田 752-4
理 由 医療機関名変更のため

【位置図】

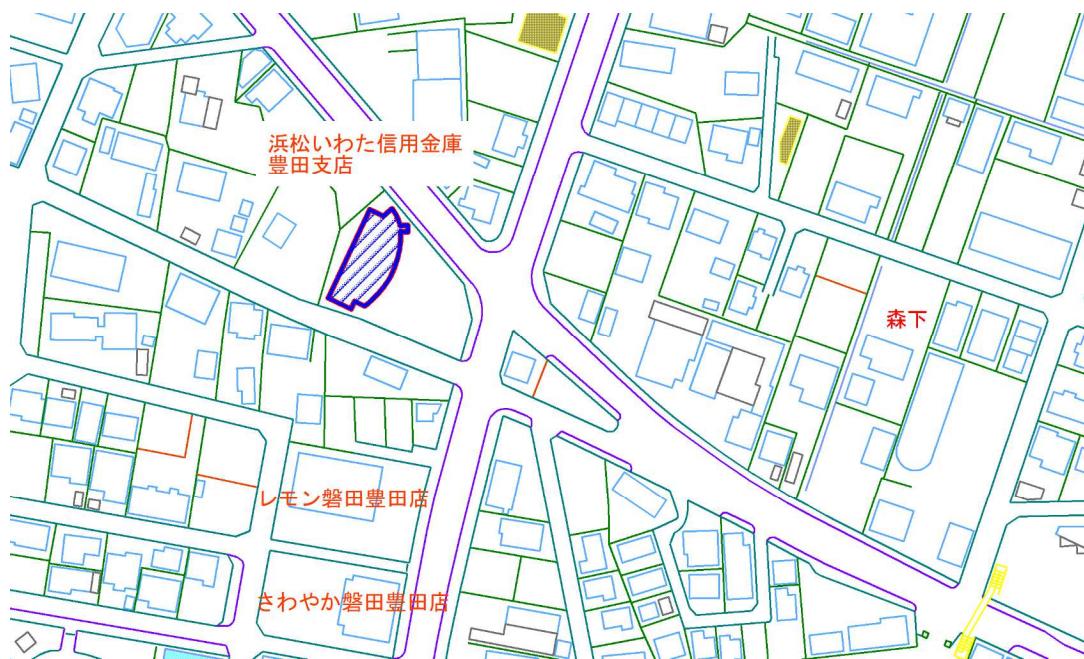


施設名 浜松いわた信用金庫 豊田支店

住 所 磐田市森下 12-7

理 由 支店統合により廃止のため

【位置図】



施設名 浜松いわた信用金庫 豊田北支店

住 所 磐田市加茂 1255

理 由 支店統合により廃止のため

【位置図】

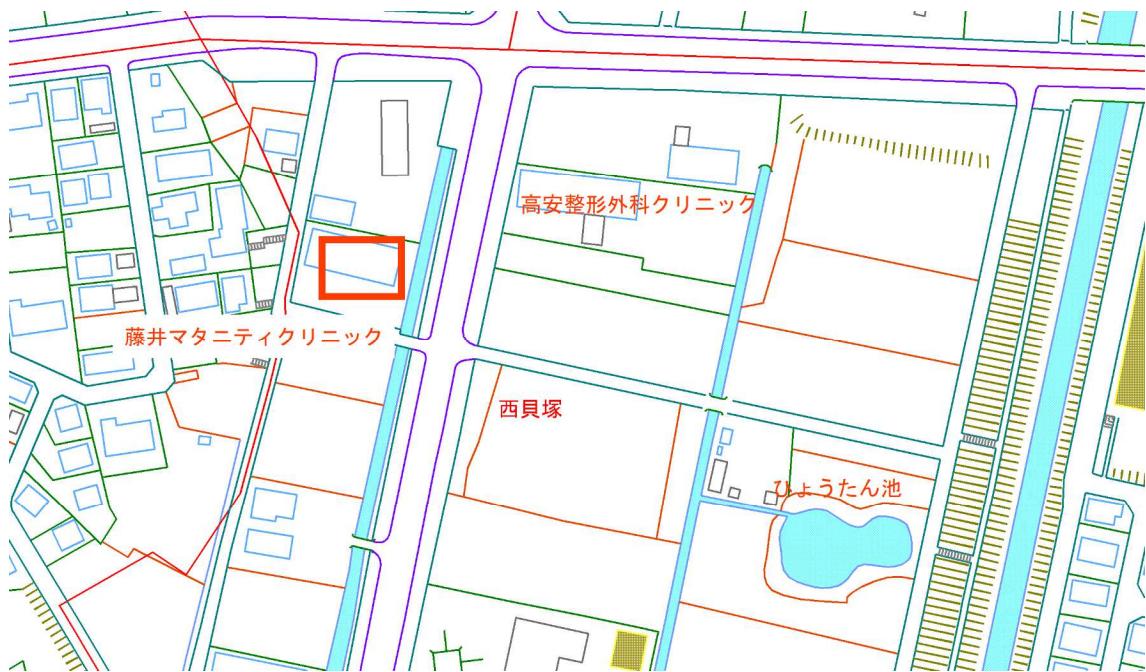


施設名 藤井マタニティクリニック

住 所 磐田市西貝塚 2251

理 由 閉院のため

【位置図】



施設名 高尾医院

住 所 磐田市見付 3607

理 由 閉院のため

【位置図】



令和7年度第1回磐田市地域公共交通会議運賃検討部会について

令和7年度第1回磐田市地域公共交通会議運賃検討部会を開催したため、以下のとおり報告する。

- 1 目的 「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」が主催する小学生バス無料デーに本市の自主運行路線も参画にあたり、期間である令和7年12月13日(土曜日)における小学生のバス運賃を無料とするため。
- 2 日程 令和7年11月13日(木)
- 3 方法 書面による開催
- 4 出席者 公共交通会議検討部会委員 9名
- 5 議題 ハッピーライド in 静岡プロジェクト 小学生バス無料デーについて
- 6 内容 別紙資料のとおり
- 7 結果 全会一致による承諾

ハッピーライド in 静岡プロジェクト(小学生バス無料デー)について

令和7年12月13日(土曜日)、14日(日曜日)のハッピーライド in 静岡プロジェクト(小学生バス無料デー)期間中は、小学生のバス運賃を無料とする。

1 目的

公共交通機関離れによる長期的な利用者の減少に加え、コロナ禍の影響を受けて利用者が落ち込み、コロナ禍以降も利用者は8割から9割にとどまっています。

また、バス運転士の高齢化と労働時間の厳正化により、バス運転手不足が深刻化し、路線の維持が困難になっています。

こうした背景を受け、官民が連携して小学生がバスに乗る機会を提供するものです。

(主な目的)

- ・小学生や地域住民にバスを利用してもらうことで、公共交通であるバスについて考えるきっかけとします。
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、社会全体で「乗って残す」意識を啓発
- ・皆でバスに乗り合うことで、環境負荷を低減し、温暖化防止につなげていきます。

2 概要

令和7年12月13日(土曜日)、14日(日曜日)に静岡県が主体となり、県内すべての小学生がバスに無料で乗車できる無料デーを2日間限定で開催されます。昨年度、小学生を無料にした全県規模の無料デーを全国初の取組みで実施し、本年度は2回目になります。

地域の公共交通機関の一つである路線バスを維持していくために「乗って残す」意識を啓発し、磐田市では実施日に運行する以下の路線を対象とし、公共交通の利用促進に取り組みます。

3 対象路線

	磐田市 対象路線
自主運行バス	(1) 掛塚磐田駅線(とつか系統) (2) 掛塚磐田駅線(千手堂系統) (3) 掛塚磐田駅線(北高系統)
民間事業者バス	(1) 磐田市立病院福田線 (2) 中ノ町磐田線 (3) 磐田天竜線 (4) 掛塚さなる台線 (5) 城之崎線

4 運行概要

自主運行バス

項目	内容
対象路線	(1) 掛塚磐田駅線 (とつか系統) (2) 掛塚磐田駅線 (千手堂系統) (3) 掛塚磐田駅線 (北高系統)
運行日	令和7年12月13日(土曜日)
運行経路	別紙1 運行経路のとおり
運賃	小学生無料
乗車方法	バスを降りる際に、乗務員にリーフレットを提示
運行事業者	浜松バス株式会社

民間事業者バス

項目	内容
対象路線	(1) 磐田市立病院福田線 (2) 中ノ町磐田線 (3) 磐田天竜線 (4) 掛塚さなる台線 (5) 城之崎線
運行日	令和7年12月13日(土曜日)、12月14日(日曜日)
運行経路	別紙2 運行経路のとおり
運賃	小学生無料
乗車方法	バスを降りる際に、乗務員にリーフレットを提示
運行事業者	遠州鉄道株式会社

磐田線の運賃改定及び委託化について

磐田線について、運賃改定を検討しているため報告する。

また、令和8年度から秋葉バスサービス株式会社に運行を委託するため報告する。

1. 運賃改定について

2. 委託化について